

平成 20 年度 保健学部 教室別業績集 目次

臨床薬理学 … 2	健康スポーツ科学 …33
分析化学・生化学 …3	医療安全管理学 …34
分子生物学 …4	神経機能制御外科学 …35
解剖学・細胞生物学 …5	成人・高齢者看護学 …37
臨床血液学・生理機能検査学 …7	母子看護学・助産学 …39
免疫学 …9	地域看護学 …40
臨床微生物学 …12	精神看護学 …44
臨床検査学・臨床化学 …14	臨床生理学・医用応用光学 …45
細胞診断学 …16	先端臨床工学 …47
細胞遺伝学 …18	生理・生体工学 …51
環境保健学・人類生態学 …20	医用情報工学 …53
公衆衛生学 …22	血液浄化療法学 …54
母子保健・社会福祉学 …24	循環器病態生理学 …56
精神保健学 …25	病理学 …58
健康教育学 …28	機能回復学 …59
救急救命学 …31	内部障害系理学療法学 …61

臨床薬理学教室

I. 口演

1. 細田香織, 古田 隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): Daidzein 7-glucuronide-4'-sulfate および Genistein 7-glucuronide-4'-sulfate はきな粉摂取後のヒト血漿中における主要代謝産物である. 第 23 回日本薬物動態学会年会, 熊本, 平成 20 年 10 月 30 日-11 月 1 日
2. 細田香織, 古田 隆¹, 石井和夫 (¹東京薬大・薬): ヒト血漿及び尿中におけるイソフラボン抱合代謝産物の同定と定量. 日本薬学会第 129 年会, 京都, 平成 21 年 3 月 26-28 日

II. 論文

1. Hosoda K, Furuta T¹, Ogura K¹, Hirastuka A¹ & Ishii K (¹ Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences): Plasma profiling of intact isoflavone metabolites by high-performance liquid chromatography and mass spectrometric identification of flavone glycosides daidzin and genistin in human plasma after administration of *kinako*. *Drug Metab Dispos* 36:1485-95, 2008.

分析化学・生化学研究室

I. 口演 (学会等)

- 岡田洋二, 田中 薫¹, 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学) : カプサイシンの抗酸化機構に関する研究. 第 61 回日本酸化ストレス学会学術集会, 京都, 平成 20 年 6 月 19-20 日.
- 島 幸夫, 手塚 敏春 : 生化学実習を意義あるものにする. 第 3 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 福岡, 平成 20 年 8 月 20-22 日.
- 島 幸夫 : *Fat mass and obesity associated gene (FTO) rs9939609 (A/T) 遺伝子多型と健診データとの関連*. 第 48 回日本臨床化学会年次学術集会, 浜松, 平成 20 年 8 月 29-30 日.
- 岡田洋二, 田中 薫¹, 佐藤英助², 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学, ²青森大・薬・分析化学) : チオサルフィネート誘導体の抗酸化効果に関する研究. 日本薬学会第 129 年会, 京都, 平成 21 年 3 月 26-28 日.
- 田中 薫¹, 岡田洋二, 田中 恵², 丘島晴雄 (¹杏林大・保健・医用情報工学, ²東京大・ANESC) : 分子軌道法によるアリシン (allicin) の抗酸化活性の検討. 日本薬学会第 129 年会, 京都, 平成 21 年 3 月 26-28 日.

II. 論文

- 佐藤英助¹, 岡田洋二, 丘島晴雄 (¹青森大・薬・分析化学) : 果実や飲料などの抗酸化活性について. *化学と薬学の教室* 158:8-15, 2008.

分子生物学教室

I. 口演 (学会等)

1. 蒲生忍, 松本誠治, 相見祐輝, 斎藤由紀子: 日本産環形動物ナガミミズ目の分子系統解析. 日本動物学会 79 回大会, 福岡, 平成 20 年 9 月 5-7 日.
2. 蒲生忍: 医師による幫助自殺または尊厳死法—米国ワシントン州の選択. 第 38 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
3. 蒲生忍: 倫理委員の研修に関する考察—米国での研修コースに参加して. 第 20 回日本生命倫理学会年次大会, 福岡, 平成 20 年 11 月 29-30 日.
4. 蒲生忍, 鈴木恒平¹, 佐々木貴史², 清水信義² (¹STAFF 研, ²慶応大・医): 貧毛類ツリミミズのゲノム解析. 第 31 回日本分子生物学会年会, 神戸, 平成 20 年 12 月 9-12 日.
5. 村田麻喜子, 相見祐輝, 斎藤由紀子, Stürzenbaum SR¹, 蒲生忍 (¹King's College of London): 貧毛類のメタロチオネイン遺伝子の検索. 第 31 回日本分子生物学会年会, 神戸, 平成 20 年 12 月 9-12 日.
6. 相磯聡子, 村田麻喜子, 蒲生忍: 大腸菌 small RNA 6H57 の標的 mRNA の検索. 第 31 回日本分子生物学会年会, 神戸, 平成 20 年 12 月 9-12 日.
7. 坂上正行¹, 新屋敷康², 宮本麻美子³, 太田力³, 蒲生忍 (¹バイオリジェネレーション, ²新屋敷産婦人科, ³国立がんセ・研): 羊膜由来間葉系 SP 細胞の分離と性状—径膈分娩により得られた満期胎盤からの分離. 第 31 回日本分子生物学会年会, 神戸, 平成 20 年 12 月 9-12 日.

II. 論文

1. 萬知子, 巖康秀, 窪田靖志, 下島裕美, Richardson RH, 蒲生忍: 米国の緩和医療と終末期選択: オレゴン健康科学大学 Richardson 博士の講演記録. 杏林医会誌 39:49-60, 2008.
2. 相磯聡子, 村田麻喜子, 蒲生忍: 大腸菌 *rmf* 遺伝子のリボゾーム結合部位の特定. 杏林医会誌 39:61-68, 2008.
3. Suzuki K¹, Suzuki T, Stürzenbaum SR², Gamou S (¹STAFF Inst, ²King's College of London): Construction of a Bacterial Artificial Chromosome (BAC) library and the genomic analysis of valosine-containing proteins in the earthworm *Eisenia fetida*. Eur J Soil Biol 44:202-206, 2008.
4. Nakashima T¹, Okada T², Asahi J², Yamashita A², Kawai K¹, Kasai H¹, Matsuno K³, Gamou S, Hirano T² (¹Univ Occup Env Health Sch Med, ²Univ Kitakyusyu, ³Univ Kyushyu Sch Med): 8-Hydroxydeoxyguanosine generated in the earthworm *Eisenia fetida* grown in metal-containing soil. Mutation Res 654:138-44, 2008.
5. 下島裕美¹, 蒲生忍 (¹杏林大・保・精神保健): 4ボックス法 (四分割法). 小児臨 61:1615-1617, 2008.

解剖学・細胞生物学教室

I. 口演

- 1 Hasegawa R, Horie S, Shiota A¹, Kozawa M & Takami S (¹株式会社フェニックスバイオ) : Establishment of transgenic rats in which olfactory receptor cells overexpress BDNF. International Symposium on Olfaction and Taste XV. San Francisco, July 21-26, 2008.
- 2 Takami S, Hasegawa R & Horie S: Immunocytochemical evidence for steroid metabolism and modification in the primary vomeronasal system in rodents. International Symposium on Olfaction and Taste XV., San Francisco, July 21-26, 2008.
- 3 小沢瑞希, 高見茂 : ラット副嗅球の免疫組織化学的解析. 第 42 回日本味と匂学会大会, 東京, 平成 20 年 9 月 17-19 日.
- 4 堀江沙和, 高見茂 : 鋤鼻受容細胞の分子マーカーについての検索. 第 42 回日本味と匂学会大会, 東京, 平成 20 年 9 月 17-19 日.
- 5 小沢瑞希, 高見茂 : 副嗅球投射ニューロン樹状突起終末の、MAP2 抗体による可視化. 第 37 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
- 6 堀江沙和, 高見茂 : 鋤鼻受容細胞の免疫組織化学的分類について. 第 37 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
- 7 高見茂, 島幸夫¹, 長谷川瑠美 (¹杏林大・保健・分析化学・生化学) : 鋤鼻受容細胞にみられる滑面小胞体ネットワークの解析. 第 37 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
- 8 長谷川瑠美, 柴田侑里, 堀江沙和, 八巻明子, 塩田明¹, 高見茂 (¹株式会社フェニックスバイオ) : BDNF 過剰発現トランスジェニックラットにおける嗅上皮の観察. 日本解剖学会関東支部第 96 回学術集会, つくば市, 平成 20 年 11 月 22 日.
- 9 堀江沙和, 高見茂 : PDI 抗体染色により示唆された鋤鼻受容細胞のサブタイプ. 日本解剖学会関東支部第 96 回学術集会, つくば市, 平成 20 年 11 月 22 日.
- 10 高見茂, 諸井和正, 小山茂樹, 長谷川瑠美 : 匂い受容サイトとフェロモン受容サイトの形態学的解析. 第 114 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岡山, 平成 21 年 3 月 28-30 日.
- 11 堀江沙和, 高見茂 : 齧歯類の鋤鼻器における 17 β -HSD type2 の免疫局在. 第 114 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岡山, 平成 21 年 3 月 28-30 日.
- 12 飯島淳子¹, 堀江沙和, 安井英明¹, 高見茂 (¹杏林大・保健・細胞診断学) : 胃内グルタミン酸シグナリングに関する神経要素の同定. 第 114 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岡山, 平成 21 年 3 月 28-30 日.

II. 論文

- 1 Hasegawa R, Takami S & Nishiyama F : Immunoelectron microscopic analysis of the distribution of tyrosine kinase receptor B in olfactory axons. Anat Sci Int 83:186-194, 2008.
- 2 Takami S & Toida K¹ (¹Kawasaki Medical School, Department of Anatomy) : Structure and function of the olfactory system: Overview. Anat Sci Int 83:183-185, 2008.
- 3 Iijima J, Horie S, Hasegawa R, Yasui H & Takami S : Immunohistochemical and morphologic basis for

glutamate signaling in the rat stomach. Biol Pharm Bull 31:1838-1840, 2008.

- 4 小沢瑞希, 高見茂: ラット副嗅球の免疫組織化学的解析. 日本味と匂学会誌 15:531-534, 2008.
- 5 堀江沙和, 高見茂: 鋤鼻受容細胞の分子マーカーについての検索. 日本味と匂学会誌 15:535-538, 2008.

臨床血液学研究室

I. 口演（学会等）

1. 須永弘¹、小島幸恵¹、須永良¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：形態（血液像検査の質向上ツール Television DM96 教育と標準化. 第 57 回日本医学検査学会，札幌，平成 20 年 5 月 30-31 日
2. 須永弘¹、小島幸恵¹、須永良¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：形態（血液像検査の質向上ツール Television DM96 効率的運用. 第 57 回日本医学検査学会，札幌，平成 20 年 5 月 30-31 日
3. 小島幸恵¹、須永良¹、須永弘¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：形態（血液像検査の質向上ツール Television DM96 基礎的検討. 第 57 回日本医学検査学会，札幌，平成 20 年 5 月 30-31 日
4. 東克巳：表面マーカーの標準化と白血病診断への応用 表面マーカーの外部精度管理. 第 18 回日本サイトメトリー学会学術集会，東京，平成 20 年 6 月 28-29 日
5. 東克巳：完璧な血液検査報告を目指して フローサイトメトリー検査. 第 9 回日本検査血液学会学術集会，津，平成 20 年 7 月 26-27 日
6. 関根名里子、西村伸大、東克巳：血液形態定量化による形態検査標準化の試み 1. 普通染色法とその精度管理. 第 9 回日本検査血液学会学術集会，津，平成 20 年 7 月 26 日-27 日
7. 東克巳：形態のベテランに聞く“骨髄標本で見逃してはいけない骨髄スクリーニング所見” 第 9 回日本検査血液学会学術集会，津，平成 20 年 7 月 26 日-27 日
8. 須永弘¹、小島幸恵¹、鈴木嘉津枝¹、須永良¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：血液像自動分類装置 Television DM96 (CELLAVISION 社 Sweden 細胞判定信頼度の検討. 第 9 回日本検査血液学会学術集会，津，平成 20 年 7 月 26 日-27 日
9. 須永弘¹、小島幸恵¹、鈴木嘉津枝¹、須永良¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：Television DM96 の運用と評価. 第 40 回日本臨床検査自動化学会，横浜，平成 20 年 10 月 9-11 日
10. 鈴木嘉津枝¹、須永弘¹、小島幸恵¹、須永良¹、亀井喜恵子¹、大須賀武雄¹、西村敏治²、東克巳、三ツ橋雄之³（¹国立病院東京医療センター メディエンス検査室、²N T T 関東病院、³慶應大学病院：Television DM96 の運用と評価. 第 40 回日本臨床検査自動化学会，横浜，平成 20 年 10 月 9-11 日
11. 松田愛美¹、佐々木麻美¹、西村伸大、菅野敬祐²、森谷直樹¹、丹羽健¹（¹山野美容芸術短期大学、²読売理工医療福祉専門学校：ラベンダー芳香浴における生理学的指標の影響. 第 67 回日本公衆衛

生学会総会, 福岡, 平成 20 年 11 月 5 日-7 日.

II.論文

1. 東克巳：赤血球形態による貧血の分類. 臨床病理レビュー特集第. 臨床検査 Yearbook2009 142 : 32-38, 2009.
2. 東克巳：【末梢血検査異常 何を考え, どう対応するか】血液検査から何がわかるか血球検査. *Medicina* 45 : 2145-2148, 2008.
3. 東克巳：こんな検査法知っていますか? NBT 還元試験. *Medical Technology* 36 : 970, 2008.

III.著書

1. 東克巳：IV章、形態に関する検査. 血液検査学実習書. 三村邦裕編. 東京、医歯薬出版、2009. p.51-74.

免疫学教室

I. 口 演

- 1) 小野川 傑、田口晴彦：実験的敗血症マウスの生態からの菌排除における IL-6 trans-signaling の重要性. 第 82 回日本感染症学会学術集会. ワークショップ 1「感染症に伴う生体反応」. 松江. 平成 20 年 4 月 17 日～18 日.
- 2) 田口晴彦、蔵田 訓¹、佐々木次雄²、神谷 茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座、²国立感染症研究所)：マクロライド耐性 *Mycoplasma pneumoniae* 感染モデルにおける抗マイコプラズマ薬の有効性. 第 82 回日本感染症学会学術集会. ワークショップ 7「マイコプラズマ感染症の今日的话题」. 松江. 平成 20 年 4 月 17 日～18 日.
- 3) 蔵田 訓¹、田口晴彦、大崎敬子¹、神谷 茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座)：肺炎マイコプラズマ感染が気管支喘息におよぼす影響. 第 82 回日本感染症学会学術集会. 松江. 平成 20 年 4 月 17 日～18 日.
- 4) 渡辺秀裕¹、長崎 彩¹、町田 穰¹、角田篤郎¹、小林謙太郎¹、宇留間友宣¹、関根秀明¹、五十嵐尚志¹、田口晴彦、神谷 茂² (¹町田市民病院呼吸器科、²杏林大学医学部感染症学講座)：マイコプラズマ肺炎における咳嗽 / 気管支喘息の発症に着いての検討. 第 82 回日本感染症学会学術集会. 松江. 平成 20 年 4 月 17 日～18 日.
- 5) 皿谷 健¹、倉井大輔¹、平尾 晋¹、和田裕雄¹、石井晴之¹、蔵田 訓²、神谷 茂²、田口晴彦、明石 敏³ (¹杏林大学医学部第一内科学教室、²杏林大学医学部感染症学講座、³大正富山医薬品株式会社研究部)：ヒト型マイコプラズマ肺炎マウスモデルに及ぼすクラリスロマイシンの効果の検討. 第 82 回日本感染症学会学術集会. 松江. 平成 20 年 4 月 17 日～18 日.
- 6) 岡 健太郎¹、杉山絵美¹、田中 守¹、大崎敬子²、花輪智子²、蔵田 訓²、高橋志達¹、田口晴彦、稲松孝思³、神谷 茂² (¹ミヤリサン製薬株式会社研究部、²杏林大学医学部感染症学講座、³東京都老人医療センター感染症科)：Metronidazole と乾燥卵白を用いたラット抗菌薬関連下痢症モデルにおける *Clostridium butyricum* MIYIRI 588 の有用性についての検討. 第 12 回腸内細菌学会. 東京. 平成 20 年 6 月 12 日～13 日.
- 7) 田口晴彦：世界規模で広がる感染症に備える. 平成 20 年度調布市近隣大学公開講座. 調布. 平成 20 年 9 月 27 日.
- 8) Hirao S¹, Saraya T¹, Kurai D¹, Wada H¹, Ishii H¹, Kurata S², Taguchi H, Kamiya S², Akashi T³, Nakagaki K¹, Nakata K¹, and Goto H¹ (¹Department of 1st Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine. ²Department of Infectious Diseases, Kyorin University School of Medicine. ³ Taisho-Toyama Co. Insutitute): Comparison of immunomodulating effects among clarithromycin, dexamethasone and levofloxacin on the murine model of *Mycoplasma pneumoniae* pneumonia. European Respiratory Society Annual Congress 2008. Berlin. 4th – 8th Oct. 2008.
- 9) 岡 健太郎¹、大崎敬子²、花輪智子²、蔵田 訓²、杉山絵美¹、高橋志達¹、田中 守¹、田口晴彦、稲松孝思³、神谷 茂² (¹ミヤリサン製薬株式会社研究部、²杏林大学医学部感染症学講座、³東京都老人医療センター感染症科)：Metronidazole と乾燥卵白を用いたラット抗菌薬関連下痢症モデルにおける *Clostridium butyricum* の有用性についての検討. 第 91 回日本細菌学会関東支部

総会. 千葉. 平成 20 年 10 月 23 日～24 日.

- 10) 田口晴彦: 今年のインフルエンザに備えるーインフルエンザの疫学ー. 第 37 回杏林医学会総会・公開市民シンポジウム. 三鷹. 平成 20 年 11 月 15 日.
- 11) 荒木光二¹、田口晴彦、米谷正太¹、牧野 博¹、澤田範子¹、岡崎充宏¹、司茂幸英¹、江上照夫¹、大西宏明²、渡邊 卓² (¹杏林大学医学部附属病院中央検査部、²杏林大学医学部臨床検査医学教室) : 杏林大学病院で分離された小児由来肺炎球菌の薬剤感受性. 第 55 回日本臨床検査医学会学術集会. 名古屋. 平成 20 年 11 月 27 日～30 日.
- 12) 小野川 傑、瀧 龍雄¹、田口晴彦 (¹北里大学医療衛生学部微生物学教室) : 可溶性 IL-6 レセプター投与による敗血症における生体反応の制御の可能性. 第 38 回日本免疫学会総会. 京都. 平成 20 年 12 月 1 日～3 日.
- 13) 大崎敬子¹、Cynthia Zaman¹、米澤英雄¹、花輪智子¹、蔵田 訓¹、田口晴彦、神谷 茂¹、朝原崇²、松木隆広²、野本康二² (¹杏林大学医学部感染症学講座、²ヤクルト中央研究所) : *Helicobacter pylori* 感染スナネズミの胃内細菌叢に着いての解析. 第 42 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会. 大阪. 平成 21 年 1 月 23 日～24 日.
- 14) 田口晴彦: 世界規模で広がる感染症とケニア感染症研究対策プロジェクト. 東京都臨床検査技師会 微生物検査研究班 第 10 回定例研修会. 東京. 平成 21 年 3 月 6 日.
- 15) 神谷 茂¹、高橋志達²、田口晴彦 (¹杏林大学医学部感染症学講座、²ミヤリサン製薬株式会社研究部) : Probiotics による腸管感染症の防御. 第 82 回日本細菌学会総会. ワークショップ 8「腸内フローラの感染修飾」. 名古屋. 平成 21 年 3 月 12 日～14 日.
- 16) 蔵田 訓¹、田口晴彦、大崎敬子¹、花輪智子¹、米澤英雄¹、Cynthia Zaman¹、神谷 茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座) : *Mycoplasma pneumoniae* 菌体抗原感作に伴う Th17 経路の働き. 第 82 回日本細菌学会総会. 名古屋. 平成 21 年 3 月 12 日～14 日.

II. 論 文

- 1) Yamaguchi H, Kamiya S, Uruma T, Osaki T, Taguchi T, Hanawa T, Fukuda M, Kawakami H, Goto H, Friedman H, and Yamamoto Y: *Chlamydia pneumoniae* growth inhibition in cells by the steroid receptor antagonist RU486(Mifepristone). *Antimicrob Agents Chemother* 52: 1991-1998, 2008.
- 2) 蔵田 訓、田口晴彦、大崎敬子、花輪智子、米澤英雄、神谷茂 : 気管支喘息への肺炎マイコプラズマ感染の影響. *無菌生物 J germfree life gnotobiol* 38: 88-91, 2008.

III. 著 書

- 1) 田口晴彦 (分担執筆) : 医学書院 医学大事典 第 2 版. 東京, 医学書院, 2008.
- 2) 田口晴彦 : メディカルサイエンス微生物検査学. 大学検査学専攻微生物学教員懇談会 編, 東京, 近代出版, 2008. p 62-65.
- 3) 田口晴彦 : 保健総合大百科ー保健ニュース・心の健康ニュース縮刷活用版ー2009 年, 東京, 少年写真新聞社, 2009. p 61-62.
- 4) 小野川 傑 : 凝集反応. 新版 臨床免疫学 第 2 版. 宮坂信之、烏山 一、浅川英男、大戸 斉、山田俊幸 編, 東京, 講談社, 2009. p 87-89.

- 5) 小野川 傑 : HIV と HTLV-1 感染症. 新版 臨床免疫学 第2版. 宮坂信之、鳥山 一、浅川英男、大戸 斉、山田俊幸 編, 東京, 講談社, 2009. p 127-132.
- 6) 小野川 傑 : その他の感染症. 新版 臨床免疫学 第2版. 宮坂信之、鳥山 一、浅川英男、大戸 斉、山田俊幸 編, 東京, 講談社, 2009. p 132-136.

IV. その他

- 1) 田口晴彦 : 偏性嫌気性菌の特性. 臨床と微生物 35: 329-332, 2008.
- 2) 田口晴彦 : マイコプラズマの細菌学. 日本胸部臨床 67: 541-549, 2008.
- 3) 田口晴彦 : 病原体と生体防衛軍との戦いー感染症とはどのような疾患かー. 平成 20 年度八王子学園都市大学いちよう塾. 八王子. 平成 21 年 2 月 12 日.
- 4) 田口晴彦 : 病原体と生体防衛軍との戦いー感染症の拡大と感染防御メカニズムー. 平成 20 年度八王子学園都市大学いちよう塾. 八王子. 平成 21 年 2 月 26 日.
- 5) 田口晴彦 : 病原体と生体防衛軍との戦いー風邪にかからないためにはー. 平成 20 年度八王子学園都市大学いちよう塾. 八王子. 平成 21 年 3 月 5 日

臨床微生物学教室

I. 口演

1. 柴田明佳¹, 関貴行¹, 河西美代子¹, 半藤厚司¹, 横尾智子¹, 岡部紘明¹, 荻原利彦², 檜本雅士², 森田耕司 (¹東京文化短期大学臨床検査学科, ²麻布大学獣医学部) : 学生による蛍光ローションを用いた手洗い実験の構築に伴う教育的効果. 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 福岡, 平成20年8月20日-22日.
2. 森田耕司, 渡辺登: 微生物学実験で薬剤耐性のメカニズムを理解させるために「PCR-RFLPによる簡便な遺伝子変異分析と薬剤感受性試験」. 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 福岡, 平成20年8月20日-22日.
3. 森田耕司, 柴田明佳¹, 渡辺登 (¹東京文化短期大学臨床検査学科) : 腸管出血性大腸菌の seropathotype. 第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 福岡, 平成20年8月20日-22日.
4. Morita K, Watanabe N & Okazaki M¹ (¹Department of Clinical Laboratory Kyorin University Hospital): Molecular genetical analysis of nosocomial infections caused by *bla*CTX-M-3-harboring strains of *Enterobacteriaceae*. International Crisis Management Symposium on CBRN and Emerging Infectious Diseases (ICMS 2008), Chiba, Sep.13-16, 2008.
5. 日暮芳己¹, 桑原雅子¹, 斎藤良一¹, 三澤慶樹¹, 後藤美江子¹, 森田耕司, 森屋恭爾¹, 小池和彦¹ (¹東京大学医学部附属病院感染制御部) : Class C β -lactamase 産生 *Escherichia coli* の分離状況. 第20回日本臨床微生物学会総会, 仙台, 平成21年1月31日-2月1日.

II. 論文

1. Sekiguchi J¹, Morita K, Kitao T¹, Watanabe N, Okazaki M², Miyoshi-Akiyama T¹, Kanamori M & Kirikae T¹ (¹International Medical Center of Japan, ² Department of Clinical Laboratory Kyorin University Hospital): KHM-1, a novel plasmid-mediated metallo- β -lactamase from a *Citrobacter freundii* clinical isolate. Antimicrob Agents Chemother 52: 4194-4197, 2008.
2. 松下秀¹, 神眞知子¹, 磯貝スエ子¹, 森本敬子¹, 森田耕司 (¹東京都健康安全研究センター多摩支所) : 食品由来大腸菌におけるフルオロキノロン系薬剤耐性菌および基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ産生菌の動向. モダンメディア 54 : 202-209, 2008.

III. 著書

1. 森田耕司: 腸内細菌科. 臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学 (第2版). 東京, 医歯薬出版株式会社, 2008. p.126-157.
2. 森田耕司: Rプラスミド. KEY WORD 感染症 (第2版). 山口恵三, 戸塚恭一編. 東京, 先端医学社, 2008. p.164-166.
3. 渡辺登: ヘモリシン遺伝子. KEY WORD 感染症 (第2版). 山口恵三, 戸塚恭一編. 東京, 先端医学社, 2008. p.268-270.
4. 日暮芳己¹, 森田耕司: (¹東京大学医学部附属病院感染制御部) : 一般薬剤感受性試験, PK (薬物動態) / PD (薬力学) を用いた感受性検査の概説. 臨床検査データブック 2009-2010. 黒川

清，春日雅人，北村聖編．東京，医学書院，2009．p.461-467．

臨床検査学・臨床化学教室

I. 口演

1. 藤 明穂, 菰田照子, 坂内久一, 秋田博伸¹, 岩田 敏², 佐藤吉壮³, 砂川慶介⁴ (¹聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科, ²国立病院東京医療センター・小児科, ³富士重工業健康保険組合総合太田病院・小児科, ⁴北里大学生命科学研究所): 各種女性生殖器細胞における *Chlamydia trachomatis* の増殖性. 第82回日本感染症学会総会, 松江, 平成20年4月17-18日.
2. 宮下修行¹, 尾内一信², 織田慶子², 河合泰宏², 津村直幹³, 坂内久一, 岩田 敏⁴, 岸 文雄⁵, 岡 三喜男¹ (¹川崎医科大・呼吸器内科, ²川崎医科大・小児科, ³久留米大・医・小児科, ⁴国立病院機構東京医療センター・小児科, ⁵川崎医科大・分子生物学): 肺炎クラミジア迅速診断法の評価. 第82回日本感染症学会総会, 松江, 平成20年4月17-18日.
3. Komoda T, Fuji A, Bannai H, Akita H¹, Iwata S², Sato Y³ & Sunakawa K⁴ (¹St. Marianna Univ. Sch. of Med. Yokohama City Seibu Hosp., ²Natl. Tokyo Med. Ctr., ³Ota Fuji Heavy Industry Hosp., ⁴Kitasato Inst. for Life Sci., Kitasato Univ.): Comparison of *Chlamydia* growth in three different strains of female tissue culture cells. 108th General Meeting, American Society for Microbiology, Boston, Jun. 1-5, 2008.
4. 坂内久一, 菰田照子, 藤 明穂, 大島俊文¹, 芦田 愛¹, 岩田 敏², 秋田博伸³, 本村龍太郎⁴ (¹明治乳業株式会社, ²国立病院東京医療センター・小児科, ³聖マリアンナ医大横浜市西部病院・小児科, ⁴もとむら産婦人科医院): クラミジア・トラコマチスwestern blot像の定量化の試み. 第26回日本クラミジア研究会・第15回リケッチア研究会合同学術集会, 岐阜, 平成20年11月1-2日.
5. 沼崎 啓^{1,2}, 萩原敏且¹, 坂内久一, 松本高明¹ (¹実践的院内・実験室内感染症予防対策研究会, ²国際医療福祉大学病院・小児科): 咽頭、口腔、手指の抗菌・除菌および各種刺激物からの保護・消臭を目的とした感染症予防対策製剤開発の試み. 第24回日本環境感染症学会総会, 横浜, 平成21年2月27-28日.

II. 論文

1. Miyashita N¹, Ouchi K², Kawasaki K², Komura H², Kawai Y², Tsumura N³, Bannai H, Iwata S⁴ & Oka M¹ (¹Division of Respiratory Diseases, Department of Medicine, ²Department of Pediatrics, Kawasaki Medical School, Kurashiki City, ³Department of Pediatrics, School of Medicine, Kurume University & ⁴National Hospital Organization Tokyo Medical Center): Comparison of serological tests for detection of immunoglobulin M antibodies to *Chlamydophila pneumoniae*. *Respirology* 13: 427-431, 2008.
2. Miyashita N¹, Ouchi K², Kishi F³, Tabuchi M³, Tsumura N⁴, Bannai H, Iwata S⁵, Tanaka T⁶ & Oka M¹ (¹Division of Respiratory Diseases, Department of Medicine, ²Department of Pediatrics, ³Department of Molecular Genetics, Kawasaki Medical School, Kurashiki City, ⁴Department of Pediatrics, School of Medicine, Kurume University, ⁵National Hospital Organization Tokyo Medical Center & ⁶Division of Clinical Pharmacology and Toxicology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Ontario, Canada): Rapid and simple diagnosis of *Chlamydophila pneumoniae* pneumonia by an

immunochromatographic test for detection of immunoglobulin M anti. Clin Vaccine Immunol 15: 1128-1131, 2008.

3. Tobe S¹, Akimoto H¹, Shigematsu H¹, Watanabe T¹, Kikukawa M² & Miyazawa H. (¹ Research & Development Headquarters, Lion Corporation. ²Ipposha Oil Industries): Allergen inactivation with colloidal silica. J Oleo Sci 57: 353-8, 2008.

IV. その他

- 1) 菰田照子：バイオセーフティの現場から-医療系学生へのバイオセーフティ教育-. 第 11 回バイオセーフティ技術認定更新研修会, 東京, 平成 21 年 3 月 6 日.

細胞診断学教室

I 口演

1. 佐藤華子^{1,2}, 矢澤卓也², 下山田博明², 奥寺康司², 宮田千恵², 後藤和哉², 石井順², 柴田昌史², 鈴木瞳, 菅間博³, 北村均²(¹聖マリアンナ医科大・医・解剖学, ²横浜市大・大学院医学研究科病態病理学, ³杏林大・医・病理学): 肺癌細胞における Thyroid Transcription Factor-1 (TTF-1) 発現と TTF-1 promoter のメチレーションとの関連. 第97回日本病理学会総会, 金沢, 平成20年5月15日.
2. 山本寛¹, 小山茂樹¹, 大河戸光章¹, 藤井雅彦¹, 郡秀一, 海野みちる², 滝口祥恵³ (¹杏林大・保・病理学, ²同・医学部病理学, ³千葉県立東金病院検査科病理): 前立腺腫瘍組織におけるnm23H1抗体の染色性. 第57回日本医学検査学会, 札幌, 平成20年5月30日.
3. 岩田忠成¹, 郡秀一, 浅見英一², 設楽保江¹, 加藤弘之², 森川征彦¹ (¹東京都立清瀬小児病院検査科, ²東京都立大塚病院検査科): 膀胱尿路上皮癌の異型度とサイトケラチン20発現の検討. 第49回日本臨床細胞学会春期大会, 東京, 平成20年6月7日.
4. 大喜多佑美, 海野みちる¹, 飯島淳子, 郡秀一, 籾ひろみ, 郷田敦史², 坂本穆彦¹, 安井英明 (¹杏林大・医・病理学): 乳癌細胞におけるVEGF発現の免疫染色における検討. 第22回日本臨床細胞学会関東連合会学術集会, 東京, 平成20年9月20日.
5. 郡秀一, 飯島淳子, 籾ひろみ, 大河戸光章¹, 山本寛¹, 高見茂², 藤井雅彦¹, 安井英明 (¹杏林大・保・病理学, ²同・保・解剖学細胞生物学): ワークショップ3細胞診専門医・細胞検査士教育とそのコラボレーション 4年制大学における細胞検査士養成教育 -杏林大学保健学部の経験と将来-. 第47回日本臨床細胞学会秋期大会, 東京, 平成20年11月14日.
6. 郡秀一, 飯島淳子, 籾ひろみ, 藤井雅彦¹, 小田瑞恵², 大村峯夫², 安井英明 (¹杏林大・保・病理学, ²こころとからだの元氣プラザ婦人科): 細胞診UP-TO-DATE1 実践!免疫染色・分子病理 子宮頸部HPV感染症の細胞診UP-TO-DATE. 第47回日本臨床細胞学会秋期大会, 東京, 平成20年11月14日.
7. 大喜多佑美, 鈴木瞳, 海野みちる¹, 飯島淳子, 郡秀一, 籾ひろみ, 郷田敦史², 坂本穆彦¹, 安井英明 (¹杏林大・医・病理学, ²聖マリアンナ医大病院・病院病理部): 消化器癌細胞における Topoisomerase II α 発現の免疫組織化学的検討. 第47回日本臨床細胞学会秋期大会, 東京, 平成20年11月15日.
8. 山本寛¹, 郡秀一, 大河戸光章¹, 藤井雅彦¹, 海野みちる², 寺戸雄一², 滝口祥恵³ (¹杏林大・保・病理学, ²同・医・病理学, ³千葉県立東金病院検査科病理): 前立腺癌Gleason分類とnm23H1蛋白の染色性. 第45回関東甲信地区医学検査学会, 山梨, 平成20年11月15日.
9. 飯島淳子, 堀江沙和¹, 安井英明, 高見茂¹ (¹杏林大・保・解剖学・細胞生物学): 胃内グルタミン酸シグナリングに関する神経要素の同定. 第114回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岡山, 平成21年3月27日.

II 論文

1. Iijima J, Horie S, Hasegawa R, Yasui H & Takami S : Immunohistochemical and morphologic basis for glutamate signaling in the rat stomach. *Biol Pharm Bull* 31:1838-1840, 2008.

細胞遺伝学教室

口 演

1. 田村高志, 清水淑子¹ (¹慶応大学先導研) : 多発性嚢胞腎の遺伝子解析 —常染色体優性多発性嚢胞腎 PKD1 遺伝子を中心に—. 第 57 回日本医学検査学会, 札幌, 平成 20 年 5 月 31 日.
2. 平岡 厚, 白尾美佳¹, 篠原厚子² (¹実践女子短大・食物栄養科, ²清泉女子大・人文科学研) : 有機ゲルマニウム及び白金ナノコロイドを含有する水製品 (健康飲料) の試験管内抗酸化作用の検討, 第 19 回日本微量元素学会, 東京, 平成 20 年 7 月 3 日.
3. 田村高志, 伊藤みどり, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子² (¹杏林大医泌尿器, ²慶応大学先導研) : 常染色体優性多発性嚢胞腎 PKD2 の変異解析, 第 15 回日本遺伝子診療学会, 仙台, 平成 20 年 8 月 1 日.
4. 田村高志, 伊藤みどり, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子² (¹杏林大医泌尿器, ²慶応大学先導研) : 常染色体優性多発性嚢胞腎 PKD2 の変異解析, 第 15 回嚢胞性腎疾患研究会, 東京, 平成 20 年 9 月 6 日.
5. 平岡 厚, 篠原厚子¹, 吉村吉博² (¹清泉女子大・人文科学研, ²日本薬科大学・薬) : 「H₂O 分子のクラスター・サイズが小さい」と宣伝されている水製品・水溶液系の性状と実体の検討, 日本薬学会フォーラム 2008, 熊本, 平成 20 年 9 月 17 日.
6. 田村高志, 伊藤みどり, 八巻明子, 東原英二¹, 清水淑子² (¹杏林大医泌尿器, ²慶応大学先導研) : 常染色体優性多発性嚢胞腎 PKD2 変異解析, 日本人類遺伝学会第 53 回, 横浜, 平成 20 年 9 月 28 日.
7. 関澤浩一, 高橋あゆみ, 岸 邦和, 田辺秀之¹ (¹総研大・先導研・生命共生体進化学専攻) : ヒト 21 トリソミー細胞株における 21 番染色体テリトリーの 3 次元相対核内配置解析, 日本人類遺伝学会第 53 回大会, 横浜, 2008 年 9 月 28-30 日.
8. 平岡 厚 : オルトジフェノールの酵素酸化により生じたオルトキノンと蛋白質中のアミノ酸残基の反応の芳香族スルフィン酸塩による阻害のメカニズムの検討, 第 45 回ペプチド討論会, 東京, 平成 20 年 10 月 29 日.
9. Sekizawa, K, Takahashi, A, Kishi, K, Tanabe, H¹ (¹Dept. Evolutionary Studies Biosystems, Sch. Adv. Sci., The Grad. Univ. Adv. Studies (Sokendai)): Analysis of three-dimensionally relative positioning of chromosome 21 territories by 3D-FISH techniques in cell nuclei of cell lines established from peripheral blood lymphocytes of Down's syndrome patients. The 3rd Asian Chromosome Colloquium, Osaka. December 1-4, 2008.

論 文

1. Hiraoka A, Shirao M¹, Kasai H², Tsubiki Y² (¹Department of Human Nutrition, Jissen Women's College, ²School of Pharmaceutical Science, Hoshi University): Factors influencing the inhibition by oxalates of a copper-containing enzyme, tyrosinase. Biomed Res Trace Elem, 19: 51-56, 2008.

著 書

1. 岸 邦和 (共著) : 臨床遺伝学講座・生物学 (第 3 版) , 東京, 医師薬出版, 2009.

その他

1. 平岡 厚：パーシヴァル・ローエルの「オカルト・ジャパン」について（第11報），杏林大学研究報告教養部門，26，35-43，2009.

I. 学会発表

1. Kaneko T & Goto K¹ (1 (財)空環協・研究センター) : Dose-response relationship between aircraft noise and annoyance around an airport in Japan. 9th. International Congress on Noise as a public health problem, Mashantucket, July 21-25, 2008
2. 蘇雅拉¹、出嶋靖志 (1 国際協力・博士後期課程) : 中国北部ゴビ砂漠周辺における COPD 患者の肺機能と黄砂発生との関係—黄砂多発地域における受診記録の分析より—、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
3. 石川友美¹、松塚雅博、伊豆田誠史²、関健介、出嶋靖志、金子哲也 (1, 2 保健学部生) : 富士山麓の湧水における NO₃ イオンの動態と人為的汚染の寄与、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
4. 伊豆田誠史¹、松塚雅博、石川友美²、関健介、出嶋靖志、金子哲也 (1, 2 保健学部生) : 八王子における 17 年間の降水中の化学動態、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
5. 出嶋靖志、出嶋優華、関健介、金子哲也 : 給餌器の違いがマウスの摂食量測定に及ぼす影響、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
6. 出嶋優華、出嶋靖志 : ICR 系マウスにおける甘味味覚の個体差と体重差との関係、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
7. 出嶋靖志、出嶋優華 : 交通信号機の制御によって道路交通が滞る箇所と、そうでない箇所における、周辺大気中 CO₂ 濃度および騒音の違い、第 73 回日本民族衛生学会総会、横浜、平成 20 年 10 月 26 日
8. 後藤恭一¹、関健介、出嶋靖志、金子哲也 (1(財)空環協・研究センター) : 都市住民の主観的環境評価と精神的健康について、第 67 回日本公衆衛生学会総会、博多、平成 20 年 11 月 5 日

III. 著書

1. 出嶋靖志 : 環境と健康、「衛生学・公衆衛生学第 2 版」東洋療法学校協会編、東京、医歯薬出版、2008, p71-128.
2. 出嶋靖志 : 消毒法、「衛生学・公衆衛生学第 2 版」東洋療法学校協会編、東京、医歯薬出版、2008, p201-216.

IV. その他

1. 出嶋靖志 (翻訳) : 身体組成分析から学んだこと Lessons from Body Composition Analysis. (by J.C.K.Wells) In. B.A.Bowman & R.M.Russel (eds.) Present Knowledge in Nutrition Research, 9th ed., 23-33, ILSI, 2006、最新栄養学第 9 版, 2008, p23-32, 建帛社、
2. 金子哲也 (記事) : ICBEN 主催・第 9 回 騒音の公衆衛生学的課題 国際会議より、航空環境研究、2009、13 号、48-51

3. 金子哲也（記事）：ヘルスウォッチ 24、航空と環境、59：50-55、2008
4. 金子哲也（記事）：ヘルスウォッチ 25、航空と環境、60：50-55、2009

公衆衛生学教室業績

I. 口演

1. 岡本博照¹、角田透¹、照屋浩司、上村隆元¹、松井知子¹、市川佳居¹、深澤進次¹、竹前理映子¹、土田幸介¹、高島豊¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：医師の労働負荷と免疫指標（CD56とNK細胞活性）について：第3報. 第81回日本産業衛生学会総会、札幌、平成20年6月24-28日.
2. 土田幸介¹、竹前理映子¹、岡本博照¹、松井知子¹、深澤進次¹、大嶺智子²、照屋浩司、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²杏林大・保・健康教育）：口腔内アメニティについての研究地域住民健診の成績についての検討. 第73回日本民族衛生学会総会、横浜、平成20年10月26-27日.
3. 角田透¹、松井知子¹、岡本博照¹、照屋浩司（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：飲酒行動に関連するストレスについて—人間ドック調査資料の検討から—. 第24回日本ストレス学会総会、大阪、平成20年10月31日-11月1日.
4. 岡本博照¹、照屋浩司、松井知子¹、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：新臨床研修制度前の救急医療従事医師の労働負荷と勤務上の不満/ストレスについての検討. 第24回日本ストレス学会総会、大阪、平成20年10月31日-11月1日.
5. 松井知子¹、大嶺智子²、岡本博照¹、深澤進次¹、上村隆元¹、土田幸介¹、照屋浩司、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²杏林大・保・養護教育）：中学校における学校相談体制の構築について—心理職による第一次、第二次予防への関わりから—. 第67回日本公衆衛生学会総会、福岡、平成20年11月5日-7日.
6. 照屋浩司、加藤英世¹（¹杏林大・保・母子保健・社会福祉学）：平成19年度保健学部共同研究奨励賞報告：超音波骨評価値からみた幼児、児童の発育・発達とその関連要因に関する研究. 第37回杏林医学会総会、三鷹、2008年11月15日.
7. 照屋浩司：杏林大学公開講演会/八王子いちょう塾：生活習慣病の最新事情. 八王子、平成20年11月22日.
8. 角田透¹、岡本博照¹、松井知子¹、照屋浩司、上村隆元¹、深澤進次¹、土田幸介¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：飲酒習慣と環境との関連についての検討. 第79回日本衛生学会学術総会、東京、2009年3月29日-4月1日.
9. 松井知子¹、岡本博照¹、市川佳居¹、大嶺智子²、照屋浩司、上村隆元¹、深澤進次¹、土田幸介¹、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生、²杏林大・保・健康教育）：学校精神保健における職種間連携について—児童・生徒のメンタルヘルスへの予防的関わり—. 第79回日本衛生学会学術総会、東京、2009年3月29日-4月1日.
10. 岡本博照¹、照屋浩司、松井知子¹、深澤進次¹、土田幸介¹、上村隆元¹、角田透¹（¹杏林大・医・衛生公衆衛生）：新臨床研修制度以前の救急医師の労働負荷とストレス反応（Stress Arousal Checklist 日本版のstress17項目）についての検討. 第79回日本衛生学会学術総会、東京、2009年3月29日-4月1日.

II. 論文

1. Fukazawa S¹, Teruya K, Uemura T¹, Omine T², Matsui T¹, Takeda N¹, Okamoto H¹, Ichikawa K¹, Tsuchida K¹, Takemae R¹, Matsuda M¹ & Tsunoda T¹ (¹Dept. of Preventive Medicine & Public Health, Kyorin University School of Medicine, ²Dept. of Health Education, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ.) :The relationship between long-term changes in plasma B-type natriuretic peptide levels and electrocardiographic findings. *Environ Health Prev Med* 13: 156-161, 2008.
2. Ichikawa K¹, Matsui T¹, Tsunoda T¹, Teruya K, Uemura T¹, Takeda N¹, Okamoto H¹ & Fukazawa S¹ (¹Dept. of Preventive Medicine & Public Health, Kyorin University School of Medicine): The relationship of sleep duration and mental health with electrocardiographic findings: a retrospective-cohort study in Okinawa, Japan. *Environ Health Prev Med* 13: 227-233, 2008.

母子保健学研究室

I 口演

1. 加藤英世：心肺蘇生法及びAEDの手技．八王子市櫛田中学校講習会，東京，平成20年6月9日．
2. 加藤英世：知的障害児アセスメント(中学部)．都立特別支援学校運営連絡研修会，東京，平成20年6月26日．
3. 加藤英世：高齢者への基本的関わり方．八王子市社会福祉施設職員講習会，東京，平成20年6月26日．
4. 加藤英世：知的障害児アセスメント(小学部)．都立特別支援学校運営連絡研修会，東京，平成20年9月4日．
5. 加藤英世：知的障害児アセスメント(就労支援)．都立特別支援学校運営連絡研修会，東京，平成20年9月18日．
6. 鈴木順子¹，武内紗弥加³，加藤英世，高塩彩¹，照屋浩司⁴，林幹泰，片桐朝美，熊井利彦，石野晶子，岩見文博，松田博雄⁵(¹拓殖大学第一高等学校，³埼玉県杉戸町立泉小学校，⁴杏林大学保健学部公衆衛生学教室，⁵淑徳大学総合福祉学部)：幼児の重心動揺量の実態．第55回日本小児保健学会，札幌，平成20年9月．
7. 岩見文博，大脇淳子²(²杏林大学保健学部母子看護学・助産学教室)：児童観に通う小学生の友だちのとらえ方に関する研究．第55回日本小児保健学会，札幌，平成20年9月．
8. 阿部千春，加藤英世，林幹泰，片桐朝美，石野晶子，岩見文博：10年間(1998-2007年)における母による親子自・他殺の実態．第66回日本公衆衛生学会，福岡，平成20年11月．
9. 片桐朝美，加藤英世，松田博雄²，照屋浩司³，林幹泰，石野晶子，岩見文博(²淑徳大学総合福祉学部，³杏林大学保健学部公衆衛生学教室)：予防接種法改正に伴う接種率の推移．第67回日本公衆衛生学会，福岡，平成20年11月．
10. 照屋浩司¹，岩見文博，片桐朝美，太田ひろみ¹，林幹泰，大嶺智子³，加藤英世(¹杏林大学保健学部公衆衛生学，³杏林大学保健学部健康教育学)：超音波骨評価値からみた幼児．児童の発育・発達とその関連要因に関する研究．第67回日本公衆衛生学会，福岡，平成20年11月．
11. 熱田藍¹，加藤英世，石野晶子，高塩彩³，岩見文博(¹都立南大沢学園特別支援学校，³拓殖大学第一高等学校)：教育学部生の特別支援教育に対する意識と知識に関する研究．第55回日本学校保健学会，名古屋，平成20年11月．
12. 鈴木順子¹，武内紗弥加²，加藤英世，照屋浩司⁴，片桐朝美，林幹泰，岩見文博，市山有子⁵(¹拓殖大学第一高等学校，²埼玉県杉戸町立泉小学校，⁴杏林大学保健学部公衆衛生学，⁵洗足学園短期大学)：発達段階における幼児体脂肪率の推移とその実態．第55回日本学校保健学会，名古屋，平成20年11月．
13. 加藤英世：知的障害児アセスメント(発達の課題)．都立特別支援学校運営連絡研修会，東京，平成20年12月．
14. 加藤英世：就学時健康診断(発達アセスメント)．都立特別支援学校運営連絡研修会，東京，平成20年12月．

精神保健学教室

I. 口演

1. 田島治：プライマリケア医で診る並存疾患としてのうつ。宇都宮市医師会学術講演会，栃木，平成20年4月10日。
2. 田島治：痛みとうつ。千葉県精神医療研究会特別講演，千葉，平成20年5月15日。
3. 田島治：うつ病・パニック障害の診断と治療。日野市医師会学術講演会，日野，平成20年5月19日。
4. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題－新たな視点でSSRIのリスクと効果を考える－。SSRI研究会，横浜，平成20年5月21日。
5. 田島治：新規抗うつ薬の登場とうつ病診断の拡散。第104回日本精神神経学会総会シンポジウム，東京，平成20年5月31日。
6. 田島治：不安障害の薬物療法とタンドスピロンの位置付け。セディール講演会，札幌，平成20年6月13日。
7. 抗うつ薬の時代－うつ病治療薬の光と影－。奈良精神科診療所懇話会，奈良，平成20年7月5日。
8. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題とセルトラリンの位置付け－新たな視点でSSRIのリスクと効果を考える－。ジェイゾロフト発売2周年記念学術講演会，鹿児島，平成20年8月30日。
9. 田島治：不安とうつの脳と心のメカニズム－目からうろこのSSRI－。抗うつ薬を語る会，浦安，平成20年9月13日。
10. 田島治：うつ病治療における回復と抗うつ薬の役割再考。滋賀デプレッションフォーラム，京都，平成20年9月20日。
11. 田島治：抗うつ薬の過去・現在・未来－うつ病の薬物療法を巡る新たな視点－。第10回いわてSSRI研究会，盛岡，平成20年9月25日。
12. 田島治：知っておきたいうつ病治療と予防の知識。八王子市医師会学術講演会，八王子，平成20年9月27日。
13. 田島治：SSRI時代におけるTCAの位置付け。第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同シンポジウム，東京，平成20年10月3日。
14. 田島治：プライマリケアにおけるうつ病治療と自殺予防。南会津郡医師会生涯教育講座講演会，福島，平成20年10月17日。
15. 田島治：プライマリケアにおけるうつ病治療と自殺予防。うつ病地域連携研究会，千葉，平成20年10月24日。
16. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題。岡山精神神経科診療所協会例会，岡山，平成20年10月30日。
17. 田島治：うつの予防。多摩府中保健所精神福祉講演会，東京，平成20年11月7日。
18. 田島治：双極性障害を巡る最近の話題－双極スペクトラム概念と双極性うつ病の臨床的意義－。第11回湘南精神薬理懇話会，藤沢，平成20年11月8日。

19. 田島治：双極性障害をどう診たてるか？ ファイザー・メンタルシンポジウム 2008，東京，平成20年11月9日。
20. 田島治：双極性障害の最近の話題．第3回武蔵野地域精神科診療所研究会，武蔵野，平成20年11月17日。
21. 田島治：うつ病の広がりをどう考えるかー新規抗うつ薬の登場とうつ病診断の拡散ー．第20回東三河精神科医会学術講演会，豊橋，平成20年11月20日。
22. 田島治：あなたはただの「憂うつ」か？それとも「うつ」か？．国立市役所主催こころの健康講演会，国立，平成20年12月15日。
23. 田島治：抗うつ薬の過去・現在・未来．杉並精神科医会学術講演会，武蔵野，平成21年1月19日。
24. 田島治：精神障害とは？三鷹社会福祉協議会主催精神保健ボランティア講座，三鷹，平成21年2月4日。
25. 田島治：新たな視点でうつ病治療を考える．第9回西埼玉こころとからだの研究会，所沢，平成21年2月5日。
26. 田島治：抗うつ薬の過去・現在・未来．練馬区医師会学術部精神科医会講演会，東京，平成21年2月16日。
27. 田島治：日本のSAD治療の実態ーアンケート結果からーに対するコメント．第3回Social Anxiety Disorder (SAD)研究会，東京，平成21年2月23日。
28. 田島治：新たな視点でうつ病治療を考える．ファイザー学術講演会，沖縄，平成21年2月28日。
29. 田島治：うつ病診療論．沖縄県精神保健福祉センター主催学術講演会，沖縄，平成21年3月1日。
30. 田島治：うつ病の診断と治療について．南多摩保健所主催講演会，東京，平成21年3月14日。
31. 田島治：不安障害の診断と治療の最近の動向．ファイザーアドバンスドフォーラム，東京，平成21年3月21日。
32. 田島治：社交不安障害に対するフルボキサミンの有用性．第1回日本不安障害学会ディベート，東京，平成21年3月28日。
33. 下島裕美：自伝的記憶研究の理論と展望(6)．日本心理学会第72回大会ワークショップ，札幌，平成21年9月20日。

II. 論文

1. 田島治：抗うつ薬を巡る最近の話題．心身医学 48：383，2008.
2. 田島治：全般性不安障害．総合臨床，57：1445-1447，2008.
3. 田島治：リスクとベネフィットからみた適正使用．臨床精神薬理 11：1241-1249，2008.
4. 辻敬一郎，田島治：抗うつ薬．精神科 12：485-491，2008.

5. 中込和幸, 牛島定信, 大坪天平, 木下利彦, 久保木富房, 久保千春, 越野好文, 小山司, 田島治, 中井吉英, 中村純, 丹羽真一, 野村総一郎, 樋口輝彦, 村崎光邦, 上島国利: GAD 研究会が提唱する本邦における『GAD 治療手順』. 臨床精神薬理 11: 1571-1573, 2008.
6. 辻敬一郎, 田島治: 社交(社会)不安障害 . 治療学 42: 749-752, 2008.
7. 野崎昭子, 田島治: 新たな気分安定薬 ラモトリギンを中心に. 臨床精神医学 37: 889-897, 2008.
8. 中込和幸(鳥取大学 医学部統合内科医学講座精神行動医学分野), 牛島定信, 大坪天平, 木下利彦, 久保木富房, 久保千春, 越野好文, 小山司, 田島治, 中井吉英, 中村純, 丹羽真一, 野村総一郎, 樋口輝彦, 村崎光邦, 上島国利: わが国の実態に基づいた GAD 治療手順 臨床精神薬理 11: 1786-1791, 2008.
9. 野崎昭子, 田島治: パニック障害. 臨床と研究 85: 819-823, 2008.
10. 辻敬一郎, 田島治: 抗うつ薬の開発とうつ病臨床の変化. 精神科治療学 8: 925-932, 2008.
11. 田島治: 抗うつ薬の光と影. 臨床精神薬理 10: 1803-1811, 2008.
12. 田島治: Resilience の視点からみた抗うつ薬の作用とうつ病治療. 臨床精神薬理 12: 2245-2254, 2008.
13. 辻敬一郎, 田島治: 新しい抗不安薬開発の展望. 精神科 13: 394-400, 2008.
14. 田島治: プライマリケアにおける不安障害への対応. 日本医事新報 4420: 62-66, 2008.
15. 辻敬一郎, 田島治: 抗うつ薬の臨床試験における対象患者の問題. 精神科治療学 24: 19-26, 2009.
16. 辻敬一郎, 田島治: SSRI. 心療内科 13: 5-11, 2009.
17. 下島裕美: 自伝的記憶と時間的展望. 心理学評論, 51: 8-19. 2008.
18. 下島裕美, 蒲生忍: 4ボックス法(四分割法). 小児科臨床, 61: 1615-1617. 2008.

III. 著書

1. 田島治: 社会不安障害—社交恐怖の病理を解く. 筑摩書房, 東京, 2008.
2. 佐藤浩一, 越智啓太, 下島裕美: 自伝的記憶の心理学. 北大路書房. 2008.
3. 下島裕美: 自伝的記憶の時間構造 仲真紀子・山下清美(編) シリーズ自己心理学4巻 認知心理学へのアプローチ. 金子書房. 2008. p.170-171.

健康教育学研究室

I. 口演

1. Uemura T¹, Ketut Swastica², Sugimori T, Matsui T, Okamoto H¹ & Tsunoda T¹ (¹医・衛生学公衆衛生学、²Udayana University) The scientific evaluation of functioning food and health education-International workshop on marine genetic biodiversity. Udayana University. (UNUD), Denpasar, Indonesia, April 2-3rd, 2008.
2. 松井知子、岡本博照¹、市川佳居¹、上村隆元¹、照屋浩司²、角田 透¹ (¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学) : 事業場における新卒新入1年目社員の全員面接の予防的意義—第2報 メンタルヘルスを要する相談について— 第15回日本産業精神保健学会、大阪、平成20年6月6-7日.
3. 岡本博照¹、角田透¹、照屋浩司²、上村隆元¹、松井知子、市川佳居¹、深澤進次¹、竹前理映子¹、土田幸介¹、高島豊¹ (¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学) : 医師の労働負荷と免疫指標 (CD56 と NK 細胞活性) について : 第3報. 第81回日本産業衛生学会総会、札幌、平成20年6月24-28日.
4. 朝野聡 : 神奈川県教育委員会教員研修会講演「喫煙・飲酒・薬物乱用防止とライフスキル教育」神奈川県立体育センター研修室 (藤沢市)、2008年7月29日
5. 朝野聡 : 山梨県河口湖畔教育委員会養護教諭研修会講演「学校現場で使えるコミュニケーショントレーニング」、河口湖町教育センター (河口湖町)、2008年8月5日
6. 松井知子 : 基調講演、パネリスト : メンタルヘルスの予防について—組織の体制づくり—「産業カウンセリングのこれからの課題」. 武蔵野大学シンポジウム、2008年8月6日.
7. 松井知子 : シンポジスト : 東京都教育委員会教職員研修会平成20年度選択課題研修学校教育相談(組織対応)、スクールカウンセラー等を生かした校内での連携の在り方.、東京都教育相談センター、2008年8月12日.
8. 松井知子、石井留美¹、田中理恵¹、中島恵¹、庄司亜弓¹、横山照子¹、藤岡桐子¹、矢吹幸江¹、塚原三和子¹ (¹公立中学校スクールカウンセラー) : 児童・生徒のメンタルヘルスにおける心理職の予防への関わり (第1報 ストレスチェック調査の有効性). 第27回日本心理臨床学会、東京、平成20年9月5-7日
9. 朝野聡 : 福島県教育委員会養護教諭研修会「最近のおすすめの保健科授業」、福島県教育センター (福島市)、2008年9月18日、
10. 松井知子 : 講演 : 日本臨床心理士会研修会「産業領域における臨床心理士の役割について」. 大正大学、2008年10月12日.
11. 松井知子 : 講演 : 青梅市立小中学校副校長会「教師のメンタルヘルスについて-管理職の役割-」. 青梅市教育委員会、2008年10月24日.
12. 土田幸介¹、竹前理映子¹、岡本博照¹、松井知子、深澤進次¹、大嶺智子、照屋浩司²、角田透¹ (¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学) : 口腔内アメニティについての研究 地域住民健診の成績についての検討. 第73回日本民族衛生学会総会、横浜、平成20年10月26-27日.

13. 角田透¹、松井知子、岡本博照¹、照屋浩司²（¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学）：飲酒行動に関連するストレスについて—人間ドック調査資料の検討から—。第24回日本ストレス学会総会、大阪、平成20年10月31日-11月1日。
14. 松井知子、岡本博照¹、市川佳居¹、角田透¹（¹医・衛生学公衆衛生学）：児童・生徒のメンタルヘルスの予防的関わり—ストレスチェック調査から—。第24回日本ストレス学会総会、大阪、平成20年10月31日-11月1日。
15. 岡本博照¹、照屋浩司²、松井知子、角田透¹（¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学）：新臨床研修制度前の救急医療従事医師の労働負荷と勤務上の不満/ストレスについての検討。第24回日本ストレス学会総会、大阪、平成20年10月31日-11月1日。
16. 大阿久実幸、朝野聡、大嶺智子、山田浩平：中学生の自己管理スキルと不定愁訴の関連性、第55回日本学校保健学会、名古屋、2008年11月14-16日（学校保健研究50巻supple, p.394）
17. 西野恵子、福田潤、大嶺智子、朝野聡、貝塚祥乃：報道された学校管理下における児童・生徒の心停止事例について、第55回日本学校保健学会、名古屋、2008年11月14-16日（学校保健研究50巻supple, p.468）
18. 奥尾圭人、飯野崇、竹村絵水、大嶺智子、朝野聡、貝塚祥乃、福田潤、松井知子、照屋浩司：生徒の男性教諭に対する認知、および受け入れ意識について（第3報）、第55回日本学校保健学会、名古屋、2008年11月14-16日（学校保健研究50巻supple, p.498）
19. 松井知子、大嶺智子、岡本博照¹、深澤進次¹、上村隆元¹、土田幸介¹、照屋浩司²、角田透¹（¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学）：中学校における学校相談体制の構築について—心理職による第一次、第二次予防への関わりから—。第67回日本公衆衛生学会総会、福岡、平成20年11月5日-7日。
20. 松井知子：シンポジスト：都立高等学校向け教育相談にかかわる教員連絡会シンポジウム「思春期の心理と心のサイン」。東京都教育相談センター、2008年11月11日。
21. 松井知子：事例検討会講師：学校教育相談ⅡE研修「事例から学ぶ問題行動への対応」。東京都教職員研修センター、2008年11月26日
22. 松井知子：講演：メタボリックシンドロームとメンタルヘルス—行動変容を促す動機づけ—。平成20年度三鷹市医師会産業医学講習会・第30回産業精神保健学会研修セミナー、三鷹、平成20年12月20日。
23. 松井知子：講演：メタボリックシンドロームの保健指導—どのように行動変容を促すか—。第31回産業精神保健学会研修セミナー、東京、平成21年3月5日。
24. 角田透¹、岡本博照¹、松井知子、照屋浩司²、上村隆元¹、深澤進次¹、土田幸介¹（¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学）：飲酒習慣と環境との関連についての検討。第79回日本衛生学会学術総会、東京、2009年3月29日-4月1日。
25. 松井知子、岡本博照¹、市川佳居¹、大嶺智子、照屋浩司²、上村隆元¹、深澤進次¹、土田幸介¹、角田透¹（¹医・衛生学公衆衛生学、²保・公衆衛生学）：学校精神保健における職種間連携について—児童・生徒のメンタルヘルスへの予防的関わり—。第79回日本衛生学会学術総会、東京、2009年3月29日-4月1日。
26. 岡本博照¹、照屋浩司²、松井知子、深澤進次¹、土田幸介¹、上村隆元¹、角田透¹（¹医・衛生

学公衆衛生学、²保・公衆衛生学)：新臨床研修制度以前の救急医師の労働負荷とストレス反応 (Stress Arousal Checklist 日本版の stress17 項目) についての検討. 第 79 回日本衛生学会学術総会、東京、2009 年 3 月 29 日-4 月 1 日.

II. 論文

1. 堀川浩之、朝野聡、弓桁亮介：校庭の芝生化に関する住民意識のイメージ分析,昭和大学教育部紀要 2 : 79-85、2008.
2. Fukazawa S¹, Teruya K¹, Uemura T¹, Omine T¹, Matsui T, Takeda N¹, Okamoto H, ¹ Ichikawa K¹, Tsuchida K¹, Takemae R¹, Matsuda M¹ & Tsunoda T¹ (¹Dept. of Prev.Med, Faculty of medicine, ²Dept. of public health, Faculty of health science) :The relationship between long-term changes in plasma B-type natriuretic peptide levels and electrocardiographic findings. *Environ Health Prev Med* 13: 156-161, 2008.
3. Ichikawa K¹, Matsui T, Tsunoda T¹ Teruya K², Uemura T¹, Takeda N¹, Okamoto H¹ & Fukazawa S¹ (¹Dept. of Prev.Med, Faculty of medicine, ²Dept. of public health, Faculty of health science : The relationship of sleep duration and mental health with electrocardiographic findings: a retrospective-cohort study in Okinawa, Japan. *Environ Health Prev Med* 13: 227-233, 2008.

IV. その他

1. 松井知子：「生活環境とメンタルヘルス」、東京さんぽ 21、38 号 : 10-12、July、2008.

救急救命学教室

I. 口 演

1. 和田貴子, 岡本博照¹, 細田武伸², 山内亮子, 馬場道夫, 深澤政富, 角田透¹, 宮崎総一郎³, 黒岩大輔³ (¹杏林大・医・衛生学公衆衛生学 ²早稲田大学法学部 ³滋賀医科大学睡眠学講座 ⁴総務省消防庁): 第16回全国救急隊員シンポジウム「救急隊員の労務管理と健康について」にて行ったアンケート結果について. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
2. 宮崎総一郎¹, 和田貴子, 角田透², 黒岩大輔³ (¹滋賀医科大学睡眠学講座, ²杏林大・医・衛生学公衆衛生学, ³総務省消防庁): 救急隊員の睡眠の現状—第16回全国救急隊員シンポジウム・電子アンケート結果から. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
3. 角田透¹, 岡本博照¹, 和田貴子, 細田武伸², 山内亮子, 馬場道夫, 深澤政富, 黒岩大輔³ (¹杏林大・医・衛生学公衆衛生学 ²早稲田大学法学部 ³総務省消防庁): 「救急隊員の労務管理と健康について」でのアンケート結果について—産業医の視点から—. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
4. 川井 桂, 吉川恵次, 和田貴子, 沼上清彦, 大橋教良, 田辺 敦, 森下伊津夫, 神納光一郎, 田中秀治, 太田宗夫: 民間救急救命士養成校の病院実習: 実習A項目について (第1報). 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
5. 荻野 暁, 沼上清彦, 和田貴子, 吉川恵次, 神納光一郎, 森下伊津夫, 田辺敦, 大橋教良, 田中秀治, 太田宗夫: 「救急救命士養成校卒業生の就職実態」. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
6. 加藤義則¹, 田中秀治¹, 森下伊津夫¹, 神納光一郎¹, 岩永ひとみ¹, 和田貴子, 沼上清彦¹, 大橋教良¹, 田辺敦¹, 太田宗夫¹ (¹全国救急救命士教育施設協議会(JESA)): 全国民間救急救命士養成校施設における救急車同乗実習の実施状況と問題点について. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
7. 山内亮子, 和田貴子, 深澤政富, 馬場道夫: 患者・家族による情報提供用紙の提案. 第11回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 東京, 平成20年6月7日-8日.
8. 山内亮子: 在宅小児患者の救急車搬送をスムーズにするための情報提供用紙の提案. 第18回日本小児看護学会学術集会, 名古屋, 平成20年7月26日-27日.
9. 和田貴子, 岡本博照¹, 山内亮子, 深澤政富 (¹杏林大・医・衛生学公衆衛生学): 「救急隊員の労務管理と健康について」第16回全国救急隊員シンポジウムでのアンケート結果を踏まえ、労務管理について. 第36回日本救急医学会総会・学術集会, 札幌, 平成20年10月13日-15日.

II. 論文

1. 鱸伸子, 柳澤厚生¹, 和田貴子, 山内亮子, 馬場道夫, 深澤政富, (¹杏林大・保・医療コミュニケーション学): 救急救命士課程学生のコミュニケーション技術向上のためのコーチング実習の情動指数(EQ)による評価. 日臨救医誌 12: 1-7, 2009
2. 加藤義則¹, 田中秀治¹, 森下伊津夫¹, 神納光一郎¹, 岩永ひとみ¹, 和田貴子, 沼上清彦¹, 大橋

教良¹，田辺敦¹，太田宗夫¹（¹全国救急救命士教育施設協議会(JESA)）：全国民間救急救命士養成校施設における救急車同乗実習の実施状況と問題点について．日本臨床救急医学会雑誌，11：161，2008.

Ⅲ. 著書

1. 和田貴子：電撃症・雷撃症. 今日の治療指針 2009 年度版. 山口徹，北原光夫，福井次矢，編，東京. 医学書院. 2009. 33 頁.
2. 和田貴子：一步先行く救急隊員羅針盤. 東京. 荘道社. 2009.
3. 和田貴子：重症熱傷症例とスキンバンク・皮膚培養. 人工臓器 37：67-75, 2008

Ⅳ. その他

1. 和田貴子：平成 20 年度海外救急事情調査報告書. 財団法人 救急振興財団. 2009. 5-24.
2. 山内亮子:薬事日報 第 10579 号 2008 (平成 20) 年 9 月 8 日月曜日発行 4 頁に記事掲載 「救急搬送時に患者情報の適切な把握を お薬手帳を参考に『緊急時シート』作成」

健康スポーツ科学教室

I. 口演

1. Enomoto I¹, Komori Y^{2,3}, Hara A⁴, Kobayashi D², Kawakami S⁵, Omoto Y⁶, Takahashi M, Kono I² (¹Kamakura Women's University, ²Tsukuba University, ³Doshisha University, ⁴Tokyo Univ. of Information Sciences, ⁵Kyorin University, ⁶Nippon Sport Science University): Relationships between the physical ability and game intelligence of young elite water polo players. ECSS 13th, Estoril, July 9-12, 2008.
2. 川上哲¹, 高橋宗良, 下川哲徳(¹杏林大学保健学部非常勤講師): 冷水浸漬において異なる水温が血圧に与える影響. 日本体育学会第59回大会, 東京, 平成20年9月9-12日.
3. 榎本至¹, 小森康加², 原朗³, 大本洋嗣⁴, 河野一郎⁵, 川上哲⁶, 高橋宗良(¹鎌倉女子大学, ²同志社大学, ³東京情報大学, ⁴日本体育大学, ⁵筑波大学, ⁶杏林大学保健学部非常勤講師): ジュニアエリート水球競技選手の体力特性と競技パフォーマンスについて. 日本体育学会第59回大会, 東京, 平成20年9月9-12日.
4. 高橋宗良: 冷水浴における心臓自律神経活動について. 第63回日本体力医学会大会, 別府, 平成20年9月18-20日.

II. 論文

1. 高橋宗良: ハッドンのマトリックスおよびSHELモデルを用いた水難事故分析. 学校教育学研究論集 19: 69-82, 2009.
2. 高橋宗良, 川上哲¹, 森谷暢² (¹保健学部非常勤講師, ²中央大学商学部): 冷水浴中の血圧変動. 体育研究 43: 15-21, 2009.
3. 川上哲¹, 高橋宗良, 榎本至², 下川哲徳(¹杏林大学保健学部非常勤講師, ²鎌倉女子大学): 水球男子ジュニア選手における心理的競技能力について. 杏林大学研究報告教養部門 26: 23-28, 2009.

IV. その他

1. 高橋宗良: スポーツ活動中の事故分析について. 月刊トレーニング・ジャーナル 349:70-74, 2008.

医療安全管理学

I. 口演

1. 川村治子, 八重樫文¹, 里見慶², 稲葉千恵美², 片山美緒², 久松慎一³ (¹立命館大学経営学部, ²武蔵野美術大学造形学部, ³東京大学情報学環) : 若年看護師向け医療安全教育への e ラーニングの活用, 第3回医療の質・安全学会, 東京, 平成20年11月23日.
2. 川村治子: ミニコース「多数事例の分析手法1 (エラーマップの分析の枠組みについて)」, 第3回医療の質・安全学会, 東京, 平成20年11月23日.
3. 川村治子: 看護基礎教育における医療安全教育の方法, 国立保健医療科学院「医療安全: 看護基礎教育・臨床ジョイント研修」, 東京, 平成20年8月1日.
4. 川村治子: 危機認識・判断力を高める看護師向け医療安全教育～ハウツーからの脱却, 国立保健医療科学院「医療安全管理者フォローアップ研修」, 東京, 平成20年9月4日.
5. 川村治子: 医療安全のための卒前・卒後教育, 大阪府看護協会「看護と安全教育」研修会, 大阪, 平成20年8月8/9日.
6. 川村治子: リスクマネジメント手法Ⅱ, 全国社会福祉施設経営協議会「初級リスクマネージャ養成研修」, 東京, 平成20年11月26日.
7. 川村治子: 医療事故防止のための必須知識, 宮崎県医療安全管理者養成研修, 宮崎, 平成21年2月21/22日.

II. 論文

1. 川村治子: リスクマネジメント, 日本保健医療行動学会年報23, p185-190, 2008.
2. 川村治子: 観察力・判断力コミュニケーション能力を高める統合教育, 看護教育 49(12), p1122-1128, 2008.
3. 川村治子、八重樫文¹, 里見慶², 稲葉千恵美², 片山美緒², 久松慎一³ (¹立命館大学経営学部, ²武蔵野美術大学造形学部, ³東京大学情報学環) : 多施設共有型の医療安全 e ラーニングシステム「e-アプリコットナース」, 看護管理 19(3), p161-164, 2009.

III. 著書

1. 川村治子: 医療安全ワークブック 第2版, 医学書院, 東京, 2008.
2. 川村治子: 系統看護学講座 別巻 医療安全 第2版, 医学書院, 東京, 2008.
3. 川村治子: 転倒転落事故を2群2ステップで対処するわけは, 道又元裕監修, ケアの根拠, 日本看護協会, 東京, 2008, p18.

IV. その他

1. 川村治子 (主任研究者) : 厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤整備事業 2008 年度総括研究報告書, 若年看護師向け医療安全教育への e ラーニングの活用に関する研究, 2009.

神経機能制御外科学教室

口演

1. 竹内昌孝¹、小西善史、長田貴洋¹、松前光紀¹、石黒朋子²、梅本朋幸² (¹東海大学、¹葛西循環器脳神経外科) 頸部内頸動脈ステント留置術における遅発性網膜虚血性眼症の1例. 日本頸部血管内治療学会、長崎、平成20年6月13-14日.
2. 竹内昌孝¹、小西善史、長田貴洋¹、富永二郎¹、松前光紀¹、石黒朋子²、梅本朋幸² (¹東海大学医学部付属病院、²葛西循環器脳神経外科) : 頸部内頸動脈ステント留置術における遅発性網膜虚血性眼症の1例. 第7回日本頸部脳血管治療学会、長崎、2008年6月13日-14日.
3. 小西義史、佐藤栄志、塩川芳昭、竹内昌孝¹、深作和明²、新井紀夫³、(¹東海大学脳神経外科、²碑文谷病院・理研、³東京農工大学工学部) : 脳動脈瘤の分岐部血流評価 In vitro study Divergence department bloodstream evaluation of the cerebral aneurysm In vitro study. 第67回脳神経外科総会、盛岡2008年10月1日-3日.
4. 小西義史、佐藤栄志、塩川芳昭、竹内昌孝¹、深作和明²、大野晋吾²、豊山弘之³、島田篤⁴ (¹東海大学脳神経外科、²碑文谷病院脳神経外科、³志田記念病院、⁴白河病院) : 脳動脈瘤におけるコイル瘤内塞栓術—最近のコイルの使用経験. 第24回日本脳神経血管内治療学会、名古屋、2008年11月15日.
5. 梅本朋幸¹、竹内昌孝³、石黒朋子²、小西義史、小山誠剛²、柴田憲男²、畑 明宏¹、阿波根朝光² (¹葛西循環器脳神経外科病院循環器科、²脳神経外科、³東海大学付属病院脳神経外科) : 大動脈弁狭窄症を合併した高齢女性に対して頸動脈ステント留置術を行い、術後3日目に心肺停止となった1例. 第24回日本脳神経血管内治療学会、名古屋、2008年11月15日.
6. 石黒朋子¹、竹内昌孝³、梅本朋幸²、久保田俊介¹、村岡頼憲¹、小山誠剛¹、柴田憲男¹、阿波根朝光¹、小西義史 (¹葛西循環器脳神経外科病院循環器科、²脳神経外科、³東海大学付属病院脳神経外科) : 急性期ステント留置術を施行した内頸動脈解離の1例. 第24回日本脳神経血管内治療学会、名古屋、2008年11月15日.
7. Konishi Y: Endovascular Treatment of Intracranial Aneurysms: using new coils Clinical and experimental study. the 8th Meeting of the Asian-Australasian Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology, Taipei, April 2008
8. 小西善史: 動脈瘤への流れとカテーテルの影響の解析-安全な血管内治療を目指して. 第34回日本脳卒中学会、松江、2009年3月21日.

論文

1. Iizuka Y¹, Suzuki M¹, Komura S¹, Shimoji K.¹, Tsutsumi Y², Konishi Y³, Kaneko K³ (¹Division of Neuroradiology, (Department of Radiology, Juntendo Univ, ²Department of Radiology, National Center for Child Health and Development, ³Department of Neurosurgery Kyorin Univ.) Hydrovenous Disorder in Vein of Galen Aneurysmal Dilatation: Special Focus on Tonsillar Prolapse. The Neuroradiology Journal 21: 57-64, 2008.
2. Iizuka Y¹, Suzuki M¹, Yoshimura N¹, Ohno S², Konishi Y³ (¹Department of Radiology Juntendo

Univ,²Department of Neurosurgery, Hachioji Medical Center, Tokyo Medical Univ,³Department of Neurosurgery, Kyorin Univ)Paravertebral Arteriovenous Fistulas Presenting Acute Epidural Hematoma Associated with Paraplegia.The Neuroradiology Journal 21: 93-99,2008.

3. Osao A¹,Gulbahar W¹,Takakura Y¹,Arai N¹, Konishi Y, Fukasaku K²,Kikuchi N¹(¹Tokyo Univ of Agriculture and Technology, ²Himonya Hospital:Numerical Study on Flow-Adaptive Stents. Advanced Materials Research.Advanced Materials Research, Vol 1 ,33-37,2008.
4. Osao A¹,Gulbahar W¹,Takakura Y¹,Arai N¹, Konishi Y, Fukasaku K²,Kikuchi N¹ Tokyo Univ of Agriculture and Technology, ²Himonya Hospital):In vitro Study on Branch Flows with a Cerebral Aneurysm. Advanced Materials Research, Vol1,,33-37,2008.
5. Gulbahar W,Kobori T,Takakura Y,Arai N, Konishi Y,and Fukasaku K Numerical Simulation of Flows in a Pipe with an Aneurysmal Sac:Effects of Aneurysmal Models and Stents.Advanced Materials Reseach,Vols. 33-37,2008.

成人・高齢者看護学教室

Adult and Geriatric Nursing

I. 口演

1. 石井真理子¹, 小黒麻矢¹, 高橋美奈子, 中島恵美子(¹杏林大学病院): 手術後の疼痛緩和に対する看護師の臨床判断. 第4回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 大阪, 平成20年5月10日.
2. Kondo F, Suzuki A, Nakajima T, Tanaka S : Physiological Study of the Sleep State of Employed Middle-Aged Patients with Type 2 Diabetes Mellitus. 19th International Nursing Research Congress Focusing on Evidence-Based Practice, Singapore, Jul. 10, 2008.
3. Tsutsumi K, Kondo F, Hanazawa K : Association between consciousness of lifestyle with type 2 diabetes of working, middle-aged subjects and glycemic control status. 13th Research conference of the workgroup of European nurse researchers(WENR), Wien, Sep. 4-6, 2008.
4. 坂本祐子: 科学的根拠に基づいた看護実践にむけた基礎看護教育における病態生理. 第19回日本病態生理学会, 埼玉, 平成21年1月24日.

III. 著書

1. 加賀谷聡子: 循環器に障害のある人の手術 狭心症. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.122-126.
2. 加賀谷聡子: 循環器に障害のある人の手術 閉塞生動脈硬化症. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.146-150.
3. 坂本祐子: 肺炎の看護. 病期・病態・重症度から見た疾患別看護過程+病態関連図. 井上智子, 佐藤千史編. 東京, 医学書院, 2008. p.22-40.
4. 坂本祐子: 消化器代謝器官に障害のある人の手術 肝臓癌. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.173-179.
5. 坂本祐子: がん患者の希望……それを支える看護とは 短期連載 漫画を読んで看護を見つめなおす. 主任と中堅+こころサポート. 愛知, 日総研, 18(3), 2009. p.106-108.
6. 鈴木麻美: 脳神経器官に障害のある人の手術 クモ膜下出血. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.199-203.
7. 高橋美奈子: 消化代謝器官に障害のある人の手術 胃癌. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.160-163.
8. 中島恵美子編: ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 大阪, メディカ出版, 2009.
9. 中島恵美子: 外科的侵襲から回復期の生体反応. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.6-27.
10. 中島恵美子: 性・生殖器に障害のある人の手術. ナーシンググラフィカ EX③ 周手術期看護. 中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵編. 大阪, メディカ出版, 2009. p.244-247.
11. 中島恵美子: 家族と終末期の問題. Q&A で学ぶ重症患者ケア. 井上智子. 東京, エルゼビア・ジャパン, 2008. p.481-506.
12. 中島恵美子: 気胸の看護. 病期・病態・重症度から見た疾患別看護過程+病態関連図. 井上智子,

佐藤千史編. 東京, 医学書院, 2008. p.6-14.

母子看護学・助産学教室

I. 口演

1. Ohga A¹, Satou K (1Col Nursing Yokohama City Univ) : The social problems of Japanese common practice "Satogaeri childbirth" International Confederation of Midwives 28th Triennial Congress, Glasgow, June. 1-5, 2008.
2. 今留忍¹、近藤ふさえ²、土屋有利子 (1杏林大・保・基礎看護、²杏林大・保・高齢者看護) : 臨地実習における習得困難な看護技術 第18回日本看護学教育学会 つくば市、平成20年8月2-3日.
3. 坂下陽子、泉名美祐季、大脇淳子、橋本佳美 (1佐久大・看) : 入院中のこどもの食事～誰かと一緒に食べることの大切さ～、第55回日本小児保健学会、札幌、平成20年9月25-27日.
4. 安曇智恵子、丸山昭子、大脇淳子 : 長期入院児の気持ちを大切にしたい遊びの援助～夢中になれる遊びに焦点をあてて～、第55回日本小児保健学会、札幌、平成20年9月25-27日.
5. 太田ひろみ¹、佐藤喜美子、佐々木裕子、山元有佳 (1杏林大・保・地域看護学) : 乳幼児期のふたごに起きた医療機関を受診した不慮の事故 第55回日本小児保健学会、札幌、平成20年9月25-27日.
6. 岩見文博¹、大脇淳子 (1杏林大・保・保健学研究科) : 児童館に通う小学生の友だちのとりえ方に関する研究、第55回日本小児保健学会、札幌、平成20年9月25-27日.
7. 大脇淳子 : 市民公開講座: エパルクオープンセミナー(専門相談員)、セキ・アレルギー・ぜんそくの疑問に専門家と熟練患者(EP)が答える大相談会4、NPO法人EPAREC; 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会、東京、平成20年11月16日.
8. 佐々木裕子、佐藤喜美子、太田ひろみ¹、山元有佳 (1杏林大・保・地域看護学) : 乳幼児期のふたご育児中の家庭における事故対策の現状、日本双生児研究学会第23回学術講演会、大阪、平成21年1月25日.
9. 佐藤喜美子、太田ひろみ¹、佐々木裕子、山元有佳 (1杏林大・保・地域看護学) : 乳幼児期のふたご育児中の家庭における事故防止対策の現状、第23回日本助産学会学術集会、東京、平成21年3月21-22日.
10. 深澤洋子¹、皆川朋子²、中村幸代³、小林紀子⁴、片岡弥恵子⁴ (1前大森赤十字病院、²杏林大学・保・母子看護・助産学教室、³武蔵野大学、⁴聖路加看護大学) : 分娩第3期の管理方法に関する文献レビュー、第23回日本助産学会学術集会、東京、平成21年3月21-22日.

IV. その他

1. 佐々木裕子、土屋有利子 : 幼児への性教育、ペリネイタルケア2008年夏季増刊、大阪府、メディカ出版2008、p230~232
2. 佐藤喜美子、太田ひろみ¹、山元有佳、佐々木裕子 (1杏林大・保・地域看護学) : 多胎育児支援地域ネットワーク構築事業報告書、20年度のピアサポート活動モデル事業の報告、34-62、平成21年3月.
3. 皆川朋子¹、荒川香代子² (1杏林大学・保・母子看護・助産学教室、²ボディマインドヘルスセンター) : 身体と出会うあなたとわたしーダンス/ムーブメントセラピーを通してー、第23回日本助産学会学術集会・自由集会、東京、平成21年3月21-22日.

地域看護研究室

I. 口演

1. 大木幸子：組織活動における公共性とエンパワメント，日本保健医療社会学会シンポジウム，八王子，平成20年5月17日。
2. 大木幸子：キャリア・ディプロメントから考える保健師活動，東京都保健師会研修会，立川，平成20年5月27日。
3. 大木幸子：乳幼児健診のポイント，東京都母子保健研修会，東京，平成20年5月28日。
4. 鈴木久美子¹，舟迫香¹，青木さぎ里¹，工藤奈織美¹，塚本友栄¹，春山早苗¹，山口佳子，大澤真奈美²，森仁実³（¹自治医科大学看護学部地域看護学，²群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，³岐阜県立看護大学地域基礎看護学）：都道府県における保健所保健師に対する感染症業務に関連した研修の現状，日本地域看護学会第11回学術集会，沖縄，平成20年7月6日。
5. 大木幸子：生活の場に出向く支援，東京都中部精神保健福祉総合センター研修会，東京，平成20年7月18日。
6. 森田桂：虐待予防－重症心身障害児の長期入所に至った事例の地域連携と家族支援－。東京都特別支援学校訪問教育研究会・西部訪問看護事業部合同研究会，あきる野，平成20年8月22日。
7. 大木幸子：保健師教育課程の到達度目標の検討から考える保健師活動，全国保健師長会南関東・東京ブロック総会，東京，平成20年8月30日。
8. 大木幸子：当事者とのパートナーシップ，横浜市ポピュレーションアプローチ研修会，横浜，平成20年9月16日。
9. 大木幸子：加害事件事例への支援のポイント，P&A とうきょう in はちおうじ，八王子，平成20年9月14日。
10. 太田ひろみ，佐藤喜美子¹，佐々木裕子¹，山元有佳¹（¹杏林大・保・母子看護学助産学）：乳幼児期のふたごに起きた医療機関を受診した不慮の事故 第55回 日本小児保健学会学術集会 札幌，平成20年9月25-27日。
11. 大木幸子：グループワーク HIV 検査・相談，保健所等 HIV 検査担当者向け研修会，横浜市，平成20年10月27日。
12. 大木幸子，森田桂：保健師のコミュニティ・エンパワメントの促進をめざした援助技術に関する研究，第67回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成20年10月5日。
13. 中山絵梨佳¹，瀧川鮎子²，大木幸子（¹熊本赤十字病院，²順天堂大学練馬病院）：精神障害者の退院促進に向けた保健師の支援技術に関する研究，第67回日本公衆衛生学会，福岡，平成20年10月5日。
14. 鳩野洋子¹，家保英隆²，尾島俊之³，佐藤紀子⁴，瀬川香子⁵，大光房枝⁶，野呂千鶴子⁷，山口佳子，城本弘子⁸（¹九州大学大学院医学研究科，²高知県健康福祉部，³浜松医科大学健康社会医学，⁴千葉大学看護学部地域看護学教育研究分野，⁵東北大学医学部保健学科地域看護学分野，⁶松戸市役所健康福祉本部保健福祉課，⁷三重県立看護大学地域看護学，⁸厚生労働省健康局総務課保健指導室）：市町村保健師の確保方策に関する検討，第67回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成20年11月5日。
15. 麻原きよみ¹，大森純子¹，小林真朝¹，平野優子¹，鈴木良美²，荒木田美香子³，大木幸子，岡本玲

- 子⁴，奥山則子⁵，海原逸子⁶，須藤裕子⁷，長江弘子³，宮崎美砂子⁸，村嶋幸代⁹（1 聖路加看護大学，2 東邦大学医学部看護学科，3 国際医療福祉大学小田原保健医療学部，4 岡山大学大学院保健学研究科，5 東京慈恵会医科大学医学部看護学科，6 横浜市健康福祉局地域福祉保健部，7 小鹿野町保健福祉課，8 千葉大学看護学部，9 東京大学大学院医学系研究科）：保健師基礎教育における技術項目と卒業時の到達度に関する研究，第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
16. 森仁実¹，大澤真奈美²，小池亜紀子³，櫻山豊夫⁴，山口佳子，鈴木久美子⁵，春山早苗⁵（¹岐阜県立看護大学地域基礎看護学，²群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，³栃木県県南健康福祉センター，⁴東京都福祉保健局技監室，⁵自治医科大学看護学部地域看護学）：感染症担当保健師からみた保健所保健師の感染症業務に関する学習ニーズ，第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
17. 大澤真奈美¹，小池亜紀子²，櫻山豊夫³，山口佳子，森仁実⁴，鈴木久美子⁵，春山早苗⁵（¹群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，²栃木県県南健康福祉センター，³東京都福祉保健局技監室，⁴岐阜県立看護大学地域基礎看護学，⁵自治医科大学看護学部地域看護学）：平常時における感染症対策に関わる保健所保健師の活動実態（第 1 報），第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
18. 工藤奈織美¹，塚本友栄¹，鈴木久美子¹，春山早苗¹，青木さぎ里¹，小池亜紀子²，舟迫香²，山口佳子，大澤真奈美³，森仁実⁴，櫻山豊夫⁵（¹自治医科大学看護学部地域看護学，²栃木県県南健康福祉センター，³群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，⁴岐阜県立看護大学地域基礎看護学，⁵東京都福祉保健局技監室）：平常時における感染症対策に関わる保健所保健師の活動実態（第 2 報），第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
19. 櫻山豊夫¹，工藤奈織美²，塚本友栄²，鈴木久美子²，春山早苗²，小池亜紀子³，舟迫香³，山口佳子，大澤真奈美⁴，森仁実⁵（¹東京都福祉保健局技監室，²自治医科大学看護学部地域看護学，³栃木県県南健康福祉センター，⁴群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，⁵岐阜県立看護大学地域基礎看護学）：平常時における感染症対策に関わる保健所保健師の活動実態（第 3 報），第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
20. 7. 山口佳子，大澤真奈美¹，森仁実²，小池亜紀子³，櫻山豊夫⁴，鈴木久美子⁵，工藤奈織美⁵，塚本友栄⁵，舟迫香⁵，青木さぎ里⁵，春山早苗⁵（¹群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学，²岐阜県立看護大学地域基礎看護学，³栃木県県南健康福祉センター，⁴東京都福祉保健局技監室，⁵自治医科大学看護学部地域看護学）：平常時における感染症対策に関わる保健所保健師の活動実態（第 4 報），第 67 回日本公衆衛生学会総会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
21. 安藤実里¹，岩永俊博¹，渡辺志保¹，水馬朋子²，加藤昌代，下開千春³，（¹地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター，²県立広島大学，³第一生命経済研究所）：住民の主体的な保健福祉活動の発展要因の特定と地域への支援方法に関する研究．第 67 回日本公衆衛生学会，福岡，平成 20 年 11 月 6 日。
22. 山田悦子¹，大木幸子，生島嗣²，矢島嵩²，佐藤郁夫²，加納敬善³（¹東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課，²ふれいす東京，³デザイナー）：NGO と協働した東京都陽性者向け冊子『たんぽぽ』の作成について，第 22 回日本エイズ学会学術集会，大阪，平成 20 年 11 月 26 日。
23. 大木幸子，小日向弘雄¹，佐藤未光²，山田悦子³，野原永子³（¹多摩地域検査・相談室，²ひかりクリ

ニック/Rainbow Ring, ³東京都福祉保健局健康安全部): 京都多摩地域における土曜日即日検査の来所者の動向について【第2報】，第22回日本エイズ学会学術集会，大阪，平成20年11月27日。

24. 小日向弘雄¹，大木幸子，佐藤未光²，山田悦子³，野原永子³(¹多摩地域検査・相談室，²ひかりクリニック/Rainbow Ring，³東京都福祉保健局健康安全部): 東京都多摩地域における土曜日即日検査の来所者の動向について【第1報】，第22回日本エイズ学会，大阪，平成20年11月28日。
25. 大木幸子: 乳幼児健診のポイント，三鷹市母子保健研修会，三鷹，平成20年12月15日。
26. 佐々木裕子¹，佐藤喜美子¹，太田ひろみ，山元有佳¹，(¹杏林大・保・母子看護学助産学): 乳幼児期のふたご育児中の家庭における事故対策の現状，第23回日本双生児研究学会 大阪，平成21年1月25日。
27. 大木幸子: 保健師活動のめざすもの，川崎市保健師長会研修会，川崎，平成21年2月4日。平成21年1月25日
28. 佐藤喜美子¹ 太田ひろみ 佐々木裕子¹ 山元有佳¹ (¹杏林大・保・母子看護学助産学): 乳幼児期のふたご育児中の家庭における事故防止対策の現状，第23回日本助産学会，東京，平成21年3月21-22日。

II. 論文

1. 大木幸子: 組織活動における公共性とエンパワメント，日本保健医療社会学論集，19(2)，21-32，2008。

III. 著書

1. 大木幸子: 感染症発生時の対応，日本看護協会監修，保健師業務要覧第2版，東京，日本看護協会出版会，2008，p. 404-410。
2. 大木幸子: HIV 感染症・性感染症・ウイルス性肝炎への対策，日本看護協会監修，保健師業務要覧第2版，東京，日本看護協会出版会，2008，p. 420-429。
3. 大木幸子: 難病: 緊急時・災害時対策と地域の難病支援システムづくり，星旦二・麻原きよみ編集，これからの保健医療福祉行政論，東京，日本看護協会出版会，2008，p. 133-137。
4. 大木幸子: 感染症: 集団感染事例から地域の小児感染症予防対策へ，星旦二・麻原きよみ編集，これからの保健医療福祉行政論，東京，日本看護協会出版会，2008，p. 138-143。
5. 森田桂: 今、高齢者の地域社会からの「孤立」を防ぐ地域力が問われている，日本精神保健福祉連盟広報誌,34:7-11,2008。
6. 山口佳子: 第4回 効果的な活動に必要な行政保健師を確保するコツー小規模自治体の場合，公衆衛生情報，38:38,2008。
7. 森田桂: 在宅ケアにおける感染予防，東京都感染所マニュアル 2009，東京都新たな感染症対策委員会・東京都監修，東京，東京都，2009。p. 84-85。
8. 大木幸子: HIV キャリア・AIDS 患者に対する指導，東京都感染所マニュアル 2009，東京都新たな感染症対策委員会・東京都監修，東京，東京都，2009。p. 70-71。
9. 大木幸子: 感染症患者と接触者への対応，東京都感染所マニュアル 2009，東京都新たな感染症対策委員会・東京都監修，東京，東京都，2009。p. 120-121。

IV. その他

1. 大木幸子, 井上洋士¹, 加藤昌代, 狩野千草², 工藤恵子³, 高藤光子⁴, 高橋由美子⁵, 山田悦子⁶ (1 放送大学, 2 新宿区牛込保健センター, 3 武蔵野大学, 4 新宿区福祉部, 5 東京都多摩府中保健所, 6 東京都健康安全部: 保健所における HIV 陽性者への相談・支援機能に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業(総合研究報告書)「地域における HIV 陽性者等支援のための研究」報告書, 東京, 平成 21 年 3 月).
2. 成木弘子¹, 梅庭牧子², 恵上博文³, 大木幸子, 大槻眞美子⁴, 金子仁子⁵, 田上豊資⁶, 松木美穂⁷, 山口淳一⁸, 渡辺好恵⁹(¹国立保健医療科学院, ²青森県健康福祉部, ³山口県宇部健康福祉センター, ⁴京都府山城南保健所, ⁵慶應大学看護医療学部, ⁶高知県中央東福祉保健所, ⁷北海道後志保健福祉事務所, ⁸千葉市保健福祉局健康部, ⁹さいたま市保健所): 平成 20 年度地域保健総合推進事業, 保健所保健師活動事例集作成検討会報告書～ニーズに基づく戦略的なシステム開拓のために～, 東京, 平成 21 年 3 月.
3. 永江尚美¹, 飯田芳枝², 堀幸子³, 戸森良江⁴, 柳瀬厚子⁵, 山科美絵⁶, 川又協子⁶, 村嶋幸代⁷, 永田智子⁷, 大木幸子, 秋山正子⁸, 齋藤茂子⁹, 吾郷奈美恵⁹ (¹島根県浜田保健所, ²石川県健康福祉部健康福祉少子対策監室, ³岐阜県健康福祉部, ⁴埼玉県保健医療部, ⁵兵庫県加古川健康福祉事務所, ⁶東京都多摩立川保健所, ⁷東京大学, ⁸白十字訪問看護ステーション, ⁹島根県立大学短期大学部): 平成 20 年度地域保健健康総合推進事業「保健所機能を活かした保健・医療(看護)・福祉の連携強化」報告書, 東京, 平成 21 年 3 月.
4. 春山早苗¹, 鈴木久美子¹, 小池亜紀子², 山口佳子, 大澤真奈美³, 森仁実⁴, 桜山豊夫⁵(¹自治医科大学看護学部地域看護学, ²栃木県県南健康福祉センター, ³群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学, ⁴岐阜県立看護大学地域基礎看護学, ⁵東京都福祉保健局技監室): 厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業 結核・感染症の発生に備えた保健所保健師の平常時体制づくり並びに現任教育プログラムの開発に関する研究, 平成 20 年度 総括・分担研究報告書, 平成 21 年 3 月.
5. 春山早苗¹, 鈴木久美子¹, 小池亜紀子², 山口佳子, 大澤真奈美³, 森仁実⁴, 桜山豊夫⁵(¹自治医科大学看護学部地域看護学, ²栃木県県南健康福祉センター, ³群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学, ⁴岐阜県立看護大学地域基礎看護学, ⁵東京都福祉保健局技監室): 感染症対策における平常時の保健所保健師活動ガイドライン, 平成 19～20 年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業), 平成 21 年 3 月.
6. 春山早苗¹, 鈴木久美子¹, 小池亜紀子², 山口佳子, 大澤真奈美³, 森仁実⁴, 桜山豊夫⁵(¹自治医科大学看護学部地域看護学, ²栃木県県南健康福祉センター, ³群馬県立健康科学大学看護学部地域健康看護学, ⁴岐阜県立看護大学地域基礎看護学, ⁵東京都福祉保健局技監室): 感染症業務に関わる保健所保健師の現任教育プログラム, 平成 19～20 年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業), 平成 21 年 3 月.
7. 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ, 山元有佳¹, 佐々木裕子¹ (¹杏林大・保・母子看護学助産学): 20 年度のピアサポート活動モデル事業の報告 多胎育児支援地域ネットワーク構築事業報告書 独立行政法人福祉医療機構助成「長寿・子育て・障害者」基金: 33-62, 平成 21 年 3 月.

精神看護学教室

I. 口演

1. 大澤亜貴子¹, 横尾由紀子¹, 松島美鈴¹, 淵上博司², 土橋正彦² (¹ダイエー健康保険組合健康管理センター, ²(株)ダイエー): 従業員の睡眠時間と健康状態. 第81回日本産業衛生学会, 平成20年6月

III. 著書

1. 松岡晴香, 中島恵美子, 竹内佐智恵¹, 江口裕美子², 山崎智子³ (¹青森中央短期大学看護学科, ²国際医療福祉大学保健医療学部看護学科, ³東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科) 他: ナーシンググラフィカEX 周手術期看護. メディカ出版, 2009, p230-234.
2. 森田桂 他: 東京都感染症マニュアル2009. 東京都福祉保健局健康安全全部感染症対策課, 平成21年3月

IV. その他

1. 浅沼奈美: 杏林大学医学部付属病院看護師研修「ステップⅢ研究の方法と実践」. 三鷹, 平成20年2月6日
2. 依田(松岡)晴香, 瀬野佳代¹, 竹島勝義¹, 渡辺純一¹, 畠山卓也¹ (¹財団法人井之頭病院): 座談会 試行錯誤の連続から見えてくる実習指導の魅力. 精神科看護, 精神看護出版, vol35, p21-27, 平成20年5月
3. 森田桂: 今、高齢者の地域社会からの「孤立」を防ぐ地域力が問われている. 日本精神保健福祉連盟広報誌 34:7-11, 2008.
4. 森田桂: 虐待予防ー重症心身障害児の長期入所に至った事例の地域連携と家族支援ー. 東京都特別支援学校訪問教育研究会と西部訪問看護事業部合同研究会, あきる野市, 平成20年8月22日

臨床生理学・医用応用工学教室

I. 口演(学会等)

1. 三谷博子, 石山陽事: 居眠り検知に関する神経生理学的パラメータの検討. 第 24 回日本医工学治療学会, 幕張, 平成 20 年 4 月 18-20 日.
2. 三谷博子, 石山陽事: 居眠り検知を目的とした神経生理学的パラメータの検討. 第 19 回日本臨床モニター学会, 東京, 平成 20 年 4 月 25-26 日.
3. 石山陽事: 計測診断機器(脳波計, 筋電計, 呼吸機器等)の概要と安全管理. 第 1 種 ME 講習会, 東京, 平成 20 年 4 月 13 日.
4. 三谷博子, 石山陽事: 神経生理学的パラメータを用いた居眠り検知に関する基礎的検討. 第 47 回日本生体医工学学会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8-10 日.
5. 石山陽事: 修理業への期待. 厚生労働大臣指定修理業責任者技術専門講習会, (財)医療機器センター, 東京, 平成 20 年 9 月 8 日.
6. 三谷博子, 石山陽事: 意識レベル低下に関する神経生理学的パラメータの基礎的検討—作業時および自動車運転時の居眠り検知—. 第 6 回日本生活支援工学系学会連合大会(第 24 回ライフサポート学会, 第 8 回日本生活支援工学会), 平成 20 年 9 月 17 日-19 日.
7. 安斉亮, 原沢舞, 齋藤絢香, 三谷博子, 石山陽事: 睡眠時無呼吸症候群(SAS)の抽出とその型判定を目的とした指先センサの開発. 第 37 回杏林医学会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
8. 本多謙, 原美里, 横山直樹, 三谷博子, 石山陽事: 運転シュミレータによる居眠り検知を目的とした生理学的パラメータの検討. 第 37 回杏林医学会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
9. 新井瑞輝, 竹山梨枝子, 八木道隆, 三谷博子, 石山陽事: チャイルドシート着用走行中の乳幼児の心拍・呼吸動態の無拘束計測を目的とした基礎的検討. 第 37 回杏林医学会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
10. 木村沙希子, 加川真奈美, 三谷博子, 石山陽事: 視覚刺激による交感神経皮膚反応(SSR)の検討. 第 37 回杏林医学会, 三鷹, 平成 20 年 11 月 15 日.
11. 三谷博子, 石山陽事: 刺激の違いによる交感神経皮膚反応 SSR の立上り潜時差に関する生理学的検討. 第 61 回日本自律神経学会, 横浜, 平成 20 年 11 月 6-7 日.
12. 三谷博子(教育講演): 交感神経皮膚反応 SSR について. 第 61 回日本自律神経学会, 横浜, 平成 20 年 11 月 6-7 日.
13. 三谷博子, 石山陽事: 実用的な居眠り検知を目的とした神経生理学的パラメータに関する検討. 第 38 回日本臨床神経生理学会, 神戸, 平成 20 年 11 月 12-14 日.
14. 石山陽事: 神経生理検査に必要な ME 技術. 第 38 回日本臨床神経生理学会教育セミナー, 神戸, 平成 20 年 11 月 12-14 日.
15. 石山陽事: 神経生理検査データを判読する上で必要な ME 技術. 第 38 回日本臨床神経生理学会教育セミナー, 神戸, 平成 20 年 11 月 12-14 日.
16. 三谷博子, 石山陽事: 音刺激と深吸気刺激による SSR の潜時差に関する検討. 第 55 回日本臨床検査医学会, 名古屋, 平成 20 年 11 月 27-30 日.
17. 浦田毅¹, 岸野智則², 森秀明³, 高野麻衣子¹, 岡崎充宏¹, 司茂幸英¹, 西川かおり³, 峯佳毅³, 本

田晋久³, 塚田幾太郎³, 関里和³, 大塚弘毅², 大西宏明², 高橋信一³, 石山陽事, 渡邊卓²(¹杏林大学医学部附属病院検査部, ²杏林大学医学部臨床検査医学, ³杏林大学医学部第三内科): 腓実質エコーレベルと内臓血流動態の関連の検討. 第 55 回日本臨床検査医学会, 名古屋, 平成 20 年 11 月 27-30 日.

18. 加川真奈美, 木村沙希子, 三谷博子, 石山陽事: 科学捜査を目的とした視覚・吸気刺激による SSR 検出・分析法の新たな提案—事象関連電位併用による—. 八王子産学公連機構 第 8 回研究成果等発表講演会・はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会, 八王子, 平成 20 年 12 月 6 日.
19. 原沢 舞, 安齊 亮, 斎藤絢香, 三谷博子, 石山陽事: 睡眠時無呼吸症候群(SAS)の抽出とその型判定まで可能な指先センサ開発の基礎的研究. 八王子産学公連機構 第 8 回研究成果等発表講演会・はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会, 八王子, 平成 20 年 12 月 6 日.
20. 竹山梨枝子, 新井瑞輝, 八木道隆, 三谷博子, 石山陽事: チャイルドシート着用走行時の心拍・呼吸動態の無拘束計測に関する基礎的検討. 八王子産学公連機構 第 8 回研究成果等発表講演会・はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会, 八王子, 平成 20 年 12 月 6 日.
21. 横山直樹, 原 美里, 本多 譲, 三谷博子, 石山陽事: 運転シミュレータを用いた居眠り検知の生理学的検討. 八王子産学公連機構 第 8 回研究成果等発表講演会・はちおうじ企業・地域活性化アイデア発表会, 八王子, 平成 20 年 12 月 6 日.

II. 論文

1. 石山陽事: てんかんと脳波. *Clinical Neuroscience* 26:44-50, 2008.
2. 石山陽事: 脳波に必要な医用工学の知識(II) 差動増幅器の商用交流雑音抑制と種々の雑音除去フィルタ. *検査と技術* 36:136-142, 2008.
3. 三谷博子, 石山陽事: 発汗と交感神経皮膚反応 SSR(1). *臨床脳波* 50:165-172, 2008.
4. 三谷博子, 石山陽事: 発汗と交感神経皮膚反応 SSR(2). *臨床脳波* 50:229-238, 2008.
5. 三谷博子, 石山陽事, 白井康之¹, 川名ふさ江², 成井浩司³(¹虎の門病院臨床工学部, ²虎の門病院生理検査部, ³虎の門病院睡眠循環器センター): SSR 検出電極を内蔵した指先センサによる SAS の型判定検出装置の開発. *財団法人中谷電子計測技術振興財団年報* 22:60-66, 2008.

III. 著書(電子メディアも含む)

1. 石山陽事(分担): 計測機器の取り扱いと保守. 第 9 章心電計, 心電モニタ, 第 10 章脳波計, 筋電計, ME の基礎知識と安全管理. 改訂第 5 版, (社)日本生体医工学会 ME 技術教育委員会, 南江堂, 2008. P130-157.

IV. その他(報告書, 監修, 翻訳, 学会主催等)

1. 石山陽事(分担): 第 14 回第 1 種 ME 技術実力検定試験問題解説集, 日本医工学 ME 技術教育委員会監修, 2007.
2. 石山陽事(分担): 平成 20 年度医療機器修理業責任技術者専門講習会 テキスト(第 2 区分生体現象計測・監視システム関連), 医療機器センター, 2007.

先端臨床工学教室

I. 口演

1. 中島章夫, 福長一義 : PC 連動型 AED チェッカシステムの開発, 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 10 日.
2. 福長一義, 小前暁宣¹, 矢口俊之¹, 久保木芳徳², 飴谷彰洋³, 舟久保昭夫¹,
3. 福井康弘¹, (¹東京電機大・理工, ²北大・歯学, ³(株)ハイレックスコ-ポレ-ション・医療用具 G) : 繊維性 Scaffold の人工臓器への応用, 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 - 10 日.
4. 長谷川和典¹, 舟久保昭夫¹, 福長一義, 小森栄作², 矢口俊之¹, 住倉博仁¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工, ²国立四国がんセンター) : 完全液体呼吸における再循環回路を用いた評価実験, 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 - 10 日.
5. 岩田智治¹, 福長一義, 福井康裕¹, 舟久保昭夫¹, 矢口俊之¹, 大越康晴¹, 住倉博仁¹
6. (¹東京電機大・理工) : エンクロ-ズド型軸流血液ポンプ用モ-タの研究, 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 - 10 日.
7. 中島章夫 : 臨床工学技士養成校を取り巻く環境と入学生の現状, 第 18 回日本臨床工学会, 秋田, 平成 20 年 5 月 18 日.
8. 中島章夫, 福長一義 : 一年目を迎えた医療機器安全管理責任者の現状と問題点「臨床工学技士養成の立場で」, 第 83 回日本医療器械学会大会, 東京, 平成 20 年 5 月 31 日.
9. Sumikura H¹, Fukunaga K, Funakubo A¹, Fukui Y¹ (¹School of Science and Engineering, Tokyo Denki University): Evaluation of the characteristics of conical spiral groove bearing designs for rotary blood pumps. ASAIO 54Th Annual Conference, SAN FRANCISCO, June 19 - 21, 2008.
10. Horikoshi T¹, Funakubo A¹, Konrai T¹, Hasegawa K¹, Fukunaga K, Komori E², Stefano redici³, Ronald Hirschl³, Robert Bartlett³, Fukui Y¹(¹School of Science and Engineering, Tokyo Denki University, ²National Shikoku Cancer Center, ³University of Michigan): Study on CO₂ removal of total liquid ventilation system with recirculation circuit. ASAIO 54Th Annual Conference, SAN FRANCISCO, June 19 - 21, 2008.
11. 村田達也¹, 住倉博仁¹, 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : 軸流血液ポンプ用円錐型スパイラル溝付軸受けの血液適合性に関する基礎的検討, 第 6 回生活支援工学系学会連合大会, 山口, 平成 20 年 9 月 17 - 19 日.
12. 岩田智治¹, 住倉博仁¹, 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : 磁場解析を用いた軸流血液ポンプ用モ-タに関する検討, 第 6 回生活支援工学系学会連合大会, 山口, 平成 20 年 9 月 17 - 19 日.
13. 春日晃¹, 住倉博仁¹, 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : CFD と MOGA を用いた軸流血液ポンプ用羽根形状に関する検討, 第 6 回生活支援工学系学会連合大会, 山口, 平成 20 年 9 月 17 - 19 日.

14. 和田知之¹, 住倉博仁¹, 福長一義, 大越康晴¹, 矢口俊之¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : 軸流血液ポンプ用ディフューザ形状に関する検討, 第6回生活支援工学系学会連合大会, 山口, 平成20年9月17-19日.
15. 福長一義, 福井裕輝¹, 増田尚久¹, 舟久保昭夫², 福井康裕², 中島章夫, 嶋津秀昭³, 石山陽事⁴, 大瀧純一⁵ (¹国立精神神経センター, ²東京電機大・理工, ³杏林大・保・生理生体工学, ⁴杏林大・保・臨床生理学 医用応用工学, ⁵杏林大・保・精神看護学) : リアルタイムNIRSバイオフィードバックシステムの開発, 第6回生活支援工学系学会連合大会, 山口, 平成20年9月17-19日.
16. 中島章夫 : 医療機器概論 I・II, IBHRE 検定試験受験のための業界指定講習会プログラム, 東京, 平成20年9月20日.
17. 中島章夫 : 海外臨床工学業務の現状・防災訓練を通して学ぶCEの役割, 四国医療工学専門学校臨床工学学科 特別講義, 高知, 平成20年9月26日.
18. 中島章夫 : 医療機器概論 I・II, IBHRE 検定試験受験のための業界指定講習会プログラム, 大阪, 平成20年9月27日.
19. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 大阪, 平成20年10月25日.
20. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 岡山, 平成20年10月26日.
21. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 福岡, 平成20年11月2日.
22. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 仙台, 平成20年11月9日.
23. 中島章夫, 福長一義 : AED 電極パッド用簡易インピーダンス測定装置の開発, 第37回日本医療福祉設備学会, 東京, 平成20年11月13日.
24. 中島章夫, 福長一義, 岡本 宏樹, 平 直統 : 負荷抵抗可変型電気メスエネルギーチェッカシステムの開発, 第37回日本医療福祉設備学会, 東京, 平成20年11月13日.
25. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 名古屋, 平成20年11月22日.
26. 住倉博仁¹, 岩田智治¹, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹, 福長一義 (¹東京電機大・理工) : 流体動圧軸受を応用した軸流血液ポンプの開発 - 磁場解析を用いた軸流血液ポンプ用モータの解析精度の向上と性能評価に関する基礎的検討 -, 電気学会リニアドライブ研究会, 日立, 平成20年11月21日.
27. 磯山隆¹, 斎藤逸郎¹, 井上雄介¹, 三浦英和¹, 阿部裕輔¹, 根本功², 福長一義 (¹東京大・医学系研究科, ²iMed Japan) : トロイダルコンボリューション血液ポンプの開発, 電気学会リニアドライブ研究会, 日立, 平成20年11月21日.
28. 白石泰之¹, 金野敏¹, 山家智之¹, 坂田亮², 佐藤優太², 梅津光生², 福長一義, 本間大³ (¹東北大・加齢医学研, ²早稲田大・理工, ³トキ・コ・ポレシオン) : 慢性動物実験用人工心筋システムコントローラ, 電気学会リニアドライブ研究会, 日立, 平成20年11月21日.

29. 舟久保昭夫¹, 矢口俊之¹, 住倉博仁¹, 福長一義, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : 人工肺とマテリアルの新しい可能性の地平, 第46回日本人工臓器学会大会, 東京, 平成20年11月27-29日.
30. 斎藤逸朗¹, 根元功², 福長一義, 磯山隆¹, 井上雄介¹, 三浦英和¹, 井街宏², 阿部裕輔¹ (¹東京大・医学系研究科, ²iMed Japan, ³東北大・医工学研究科) : 救急救命装置用血液ポンプの開発, 第46回日本人工臓器学会大会, 東京, 平成20年11月27-29日.
31. 福長一義, 吉野和卓¹, 飴谷彰洋¹, 久保木芳徳², 関康夫¹, 舟久保昭夫³, 福井康裕³ (¹(株)ハイレックスコ-ポレ-ション, ²北海道大・歯, ³東京電機大・理工) : チタン不織布を応用した皮膚ボタンの開発, 第46回日本人工臓器学会大会, 東京, 平成20年11月27-29日.
32. 中島章夫 : 医療機器の原理と取り扱い上の注意, 日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーション(MDIC)認定セミナー, 仙台, 平成20年12月6日.
33. 福長一義, 吉野和卓¹, 飴谷彰洋¹, 関康夫¹, 久保木芳徳², 舟久保昭夫³, 福井康裕³ (¹(株)ハイレックスコ-ポレ-ション, ²北海道大・歯, ³東京電機大・理工) : 「DT-QOL 向上のための技術開発とは？」- 感染症と戦う被覆技術 -, 第37回人工心臓と補助循環懇話会, 新潟, 平成21年2月27-28日.

II. 論文

1. 中島章夫, 岩見秀雄¹, 西村巳貴則¹, 村垣善浩², 伊関洋² (¹(株)モリタ製作所, ²東京女子医大・先端生命医科学研) : 脳腫瘍除去用 Er:YAG レ-ザ手術システムの開発, 日本コンピュータ外科学会誌, 10 : 19 - 27, 2008.
2. 住倉博仁¹, 福長一義, 舟久保昭夫¹, 福井康裕¹ (¹東京電機大・理工) : 軸流血液ポンプ用エンクロ-ズドインペラの提案と CFD を用いた工学的検証, ライフサポート, 20-1 : 9-16, 2008.

III. 著書

1. 中島章夫 : 光治療装置, 医用治療機器学, 篠原一彦, 東京, 医歯薬出版, 2008. P.89 - 126.
2. 中島章夫 (編集) : 医用電気工学2, 中島章夫・戸畑裕志編, 東京, 医歯薬出版, 2008.
3. 中島章夫 : 医療機器に関する関係法規, 医用機器安全管理学, 篠原一彦・出淵靖志, 東京, 医歯薬出版, 2009. P.183 - 202.

IV. その他

1. 中島章夫 : 医用機器体験講座～先端医療を支える医療機器に触れてみよう～ [第1回 医療機器概説, 模擬実習 : 心臓からの信号を無線で飛ばしてみよう], 平成20年度 八王子学園都市大学(いちよう塾), 八王子, 平成20年6月17日.
2. 中島章夫 : 医用機器体験講座～先端医療を支える医療機器に触れてみよう～[第2回 医療機器による医療事故の実態, 模擬実習 : 魔法の光～レ-ザ治療器の秘密～], 平成20年度 八王子学園都市大学(いちよう塾), 八王子, 平成20年6月24日.

3. 中島章夫：医用機器体験講座～先端医療を支える医療機器に触れてみよう～[第3回 医療機器のスペシャリスト“臨床工学技士”の役割]，平成20年度 八王子学園都市大学(いちょう塾)，八王子，平成20年7月1日。

生理・生体工学教室

I. 口演

1. 嶋津秀昭：かゆみの定量は可能かー痛み定量法とかゆみ定量への応用ー. 株式会社エヌ・ティー・エス主催セミナー, 東京, 平成 20 年 4 月 14 日.
2. 嶋津秀昭, 小林博子, 瀬野晋一郎, 加藤幸子, 渡辺篤志¹ (¹杏林大・保・医用情報) : オシロメトリック法および光電脈波法を用いた間接測定システムによる上腕および指動脈血管弾性特性の測定値の比較. 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 日.
3. 瀬野晋一郎, 加藤幸子, 有馬太郎, 武内玲子, 小林博子, 嶋津秀昭, 渡辺篤志¹ (¹杏林大・保・医用情報) : 電気刺激を用いた体表面 2 点間識別閾値測定を試み. 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 日.
4. 渡辺篤志¹, 奥田知規², 嶋津秀昭, 小林博子, 瀬野晋一郎 (¹杏林大・保・医用情報、²おくだ皮膚科クリニック) : 体表組織粘性弾性特性の非接触的計測システムの改良と評価. 第 47 回日本生体医工学会大会, 神戸, 平成 20 年 5 月 8 日.
5. 嶋津秀昭 : 痛み定量評価法の原理と測定システムの概要ー実験的、臨床的な痛みの評価を中心としてー. 株式会社情報機構主催セミナー, 東京, 平成 20 年 5 月 16 日.
6. 加藤幸子, 有馬太郎, 小林博子, 嶋津秀昭 : 実験的痛みによる近接領域での痛みの分離と融合性の評価. 第 57 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会, 京都, 平成 20 年 5 月 31 日.
7. 有馬太郎, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭 : 体表面 2 点間識別閾値の電気刺激による評価を試み. 第 57 回 (社) 全日本鍼灸学会学術大会, 京都, 平成 20 年 5 月 31 日.
8. 嶋津秀昭 : 血管硬化度 ASI 測定の意義と今後の CardioVision の方向性. 第 8 回日本 AS 学会, 東京, 平成 20 年 9 月 20 日.
9. 嶋津秀昭 : Quantitative Analytical Principle of the Degree of Pain with Electrical stimuli and Clinical Evaluation. 第 13 回アジア太平洋リウマチ学会, 横浜, 平成 20 年 9 月 25 日.
10. 瀬野晋一郎, 小林博子, 加藤幸子, 有馬太郎, 嶋津秀昭 : 痛みを伴わない電気刺激による知覚閾値と痛みの評価への応用. 第 37 回日本医療福祉設備学会, 東京, 平成 20 年 11 月 12 日.
11. 嶋津秀昭 : 電気刺激を利用した痛みの定量法の実験的, 臨床的評価. 第 38 回日本臨床神経生理学会学術大会, 神戸, 平成 20 年 11

月 14 日 .

12. 嶋津秀昭 : 痛み定量の基礎と臨床評価 . 日本臨床麻酔学会第 28 回大会 , 京都 , 平成 20 年 11 月 22 日 .
13. 嶋津秀昭 : 痛みと知覚閾値の最近のデータ . 疼痛・知覚閾値講演会 , 松本 , 平成 21 年 2 月 28 日 .

医用情報工学教室

I. 口演

1. 嶋津秀昭¹、小林博子¹、瀬野晋一郎¹、加藤幸子¹、渡辺篤志（¹杏林大・保・生理・生体工学）：オシロメトリック法および光電脈波計を用いた間接測定システムによる上腕および指動脈血管弾性特性の測定値の比較. 第47回日本生体医工学会大会、神戸、平成20年5月8日.
2. 瀬野晋一郎¹、加藤幸子¹、有馬太郎¹、竹内玲子¹、小林博子¹、嶋津秀昭¹、渡辺篤志（¹杏林大・保・生理・生体工学）：電気刺激を用いた体表面2点間識別閾値測定の試み. 第47回日本生体医工学会大会、神戸、平成20年5月8日.
3. 渡辺篤志、奥田知規¹、嶋津秀昭²、小林博子²、瀬野晋一郎²（¹おくだ皮膚科クリニック、²杏林大・保・生理・生体工学）：体表組織粘弾性特性の非接触的計測システムの改良と評価. 第47回日本生体医工学会大会、神戸、平成20年5月8日.
4. 岡田洋二¹、田中薫、丘島晴雄¹（¹杏林大・保・分析化学）：カプサイシンの抗酸化機構に関する研究. 第61回日本酸化ストレス学会学術集会、京都、平成20年6月19-20日.
5. 岡田洋二¹、田中薫、佐藤英助²、丘島晴雄¹（¹杏林大・保・分析化学、²青森大・薬・分析化学）：チオサルフィネート誘導体の抗酸化効果に関する研究. 日本薬学会第129年会. 京都、平成21年3月26-28日.
6. 田中薫、岡田洋二¹、田中恵²、丘島晴雄¹（¹杏林大・保・分析化学、²東京大・ANESC）：分子軌道法によるアリシン（allicin）の抗酸化活性の検討. 日本薬学会第129年会、京都、平成21年3月26-28日.

血液浄化療法学教室

I 口演

1. 鈴木祥史、青木優子、須田健二、長谷川弘¹⁾、篠原佳彦¹⁾、松山幸枝²⁾、市田公美¹⁾、恵良聖一²⁾、副島昭典⁽¹⁾ 東京薬科大学、²⁾ 岐阜大学医学部) : 腎機能の低下にともなう血漿 albumin の酸化/還元状態の変化と cysteine、homocysteine 濃度の関係。第 51 回日本腎臓学会総会、福岡、平成 20 年 5 月 31 日
2. 鈴木祥史、須田健二、松山幸枝¹⁾、恵良聖一¹⁾、副島昭典⁽¹⁾ 岐阜大学医学部) : 糸球体性蛋白尿による尿細管間質障害と酸化型血漿 albumin の関係。第 51 回日本腎臓学会総会、福岡、平成 20 年 5 月 30 日
3. 松浦あや、須田健二、鈴木祥史、村上辰和嘉¹⁾、松山幸枝²⁾、恵良聖一²⁾、前田貞亮¹⁾、副島昭典⁽¹⁾ 前田腎研究所、²⁾岐阜大学医学部) : 維持透析患者の還元型アルブミン比率とその意義。第 20 回腎とフリーラジカル研究会、大阪、平成 20 年 9 月 20 日
4. 須田健二、鈴木祥史、松浦あや、村上辰和嘉¹⁾、松山幸枝²⁾、前田貞亮¹⁾、恵良聖一²⁾、副島昭典⁽¹⁾ 前田腎研究所、²⁾岐阜大学医学部) : 種々の透析条件と還元型アルブミン比率の関係について。第 56 回三多摩腎疾患治療医会、三鷹、平成 20 年 11 月 16 日
5. 鈴木祥史、須田健二、吉岡佳、副島昭典 : 絆創膏を使用しない透析回路固定部材の考案。第 56 回三多摩腎疾患治療医会、三鷹、平成 20 年 11 月 16 日

II 論文

1. 鈴木祥史、青木優子、松山幸枝¹⁾、長谷川弘²⁾、篠原佳彦²⁾、橋本隆男²⁾、恵良聖一¹⁾、副島昭典⁽¹⁾ 岐阜大学医学部²⁾ 東京薬科大学、) : 腎機能障害による血漿 albumin の還元化率の低下とその機序について—保存期腎不全例と維持血液透析例の比較—。日腎誌 50: 513-520, 2008
2. Muratsubaki H, Enomoto K, Soejima A, Satake K: Anenzyme cycling method for measurement of allantoin in human serum. Analytical Biochemistry 378: 65-70, 2008
3. Shibasaki H¹⁾, Nakayama H¹⁾, Furuta T¹⁾, Kasuya Y¹⁾, Tsuchiya M, Soejima A, Yamada A, Nagasawa T⁽¹⁾Tokyo college of pharmacy): Simultaneous determination of prednisolone, prednisone, cortisol and cortisone in plasma by GC-MS: Estimating unbound prednisolone concentration in patients with nephritic syndrome during oral prednisolone therapy. J Chromatogr B 870: 164-169, 2008
4. 青木優子、鈴木祥史、副島昭典 : 腎機能低下による含硫アミノ酸の代謝異常とアルブミンの還元化率。腎とフリーラジカル第 9 集、青柳一正、菱田明、編、東京医学社、2008, p.109-115
5. 鈴木祥史、松山幸枝¹⁾、恵良聖一¹⁾、副島昭典⁽¹⁾ 岐阜大学医学部) : 腎機能低下による血漿 albumin の還元化率の低下—維持透析例との比較—。腎とフリーラジカル第 9 集、青柳一正、菱田明、編、東京医学社、2008, p.149-153

III 著書

1. 副島昭典 : 第 102 回医師国家試験問題解説書 (分担執筆)。医学評論社、東京、2008
2. 副島昭典 : メディカルノート腎臓がわかる (共著)。下条文武 編集、西村書店、東京、2008

3. 副島昭典：CBT こあかりリ・コ五肢択一型式編（分担執筆）、医学評論社、東京、2008
4. 副島昭典：CBT こあかりリ・コ連問形式編（分担執筆）、医学評論社、東京、2008
5. 副島昭典：CBT こあかりオリエンテーション第3版（分担執筆）、庄司進一、松田重三、編、医学評論社、東京、2009
6. 副島昭典：第103回医師国家試験問題解説書（分担執筆）、医学評論社、東京、2009

IV その他

1. 副島昭典：尿細管間質障害と重金属またアルブミン分子の還元化率の関係に関する研究。イタイタイ病及び慢性カドミウム中毒に関する研究（重金属等の健康影響に関する総合研究）、平成19年度環境省委託業務結果報告書、2008
2. 副島昭典：腎臓病と動脈硬化—加齢現象を生化学の立場から考える—。八王子学園都市大学いちょう塾、八王子、平成20年10月23日、30日

循環器病態生理学研究室

口演

1. 四倉正之：心電図の読み方。三鷹市医師会学術講演会.三鷹,平成 20 年 4 月 24 日。
2. 吉野秀朗¹，四倉正之，坂田好美¹，池田隆徳¹(¹杏林大・医・第二内科)：日常臨床における循環器 Q & A。第 18 回府中市医師会循環器勉強会。府中，平成 20 年 6 月 16 日。
3. 四倉正之：心電図の読み方。三鷹市医師会学術講演会.三鷹,平成 20 年 8 月 28 日。
4. 吉野秀朗¹，四倉正之，坂田好美¹，(¹杏林大・医・第二内科)：日常臨床における循環器 Q & A。第 19 回府中市医師会循環器勉強会。府中，平成 20 年 10 月 20 日。
5. 四倉正之：心電図の読み方。三鷹市医師会学術講演会。三鷹，平成 10 月 23 日。
6. 四倉正之：心電図の読み方。三鷹市医師会学術講演会。三鷹，平成 20 年 12 月 25 日。
7. 吉野秀朗¹，四倉正之，池田隆徳¹，福長一義²(¹杏林大・医・第二内科，²杏林大・保・先端臨床工学)：日常臨床における循環器 Q & A。第 20 回府中市医師会循環器勉強会。府中，平成 21 年 2 月 16 日。
8. 四倉正之：心電図の読み方。三鷹市医師会学術講演会。三鷹，平成 21 年 2 月 26 日。

論文

1. Koide K¹, Yostukura M, Ando H¹, Aoki S¹, Suzuki T¹, Sakata K², Ootomo E¹, Yoshino H²(¹浴風会病院・内科，²杏林大・医・第二内科):Usefulness of P-wave dispersion in standard twelve-lead electrocardiography to predict transition from paroxysmal to persistent atrial fibrillation. Am J of Cardiol 102:573-577,2008.
2. 四倉正之：心電図の読み方-ST-T について-. 三鷹医人往来：30：19-21，2008.
3. 四倉正之：心電図の読み方-上室性期外収縮について-. 三鷹医人往来：30：14-15，2008.
4. 四倉正之：心電図の読み方-健診の心電図所見について-. 三鷹医人往来：31：22-23，2009.
5. 四倉正之，吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科)：ECG クイズ No1. 循環 plus 9-1：17-18，2008.
6. 四倉正之，吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科)：ECG クイズ No3. 循環 plus 9-3：13-14，2009.
7. 四倉正之，吉野秀朗¹(¹杏林大・医・第二内科)：ECG クイズ No5. 循環 plus 9-5：13-14，2009.

著書

1. 四倉正之，吉野秀朗¹ (分担) (¹杏林大・医・第二内科)：心電図検査の目的，適応と異常所見，結果の解釈。後藤英司，木村一雄，小西真人編 循環器系コア・カリキュラムテキスト。東京，文光堂，2008。p.128-135.
2. 四倉正之 (分担)：降圧利尿薬。池田隆徳編 循環器治療薬の選び方・使い方。東京，羊土社，2009。p41-45.
3. 四倉正之 (分担)：悪性高血圧。池田隆徳編 循環器治療薬の選び方・使い方。東京，羊土社，2009。p.147-150.
4. 四倉正之 (分担)：低血圧症。池田隆徳編 循環器治療薬の選び方・使い方。東京，羊土社，2009。p.151-154.

5. 四倉正之（分担）：拡張型心筋症．池田隆徳編 循環器治療薬の選び方・使い方．東京，羊土社，2009． p. 266-271.
6. 四倉正之（分担）：心臓のしくみとはたらき．岡島重孝，服部光男総編集 家庭医学大事典．東京，小学館，2008． p. 1332-1341.

その他

1. 高野照夫¹，小川聡¹，笠貫宏¹，木村一雄¹，後藤葉一¹，住吉徹哉¹，代田浩之¹，田中啓治¹，長尾建¹，平山篤志¹，幕内晴朗¹，山口徹¹，山科章¹，吉野秀朗¹，浅野竜太¹，石綿清雄¹，大村寛敏¹，小菅雅美¹，小林俊也¹，佐藤俊明¹，高木厚¹，高山守正¹，立花栄三¹，寺岡邦彦¹，肥後太基¹，水野裕八¹，安武正弘¹，四倉正之（¹2006-2007年度合同研究班）：急性心筋梗塞（ST上昇型）の診断に関するガイドライン．*Circulation J* 72 Suppl. IV : 1347-1464, 2008.

病理学教室

I. 口 演

1. 山本寛, 小山秀樹, 滝口祥恵¹, 郡秀一², 海野みちる³, 大河戸光章, 藤井雅彦 (¹千葉県立東金病院検査科, ²杏林大・保・細胞診断学, ³同・医学部病理学) : 前立腺腫瘍組織における nm23H1 抗体の染色性. 第 57 回日本医学検査学会, 札幌市, 平成 20 年 5 月 30 日.
2. 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 椎名義雄¹, 大河戸光章, 堅山均², 八田賢³ (¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²たて山レディースクリニック, ³ジュノ・ヴェスタクリニック八田) : アイラボ方式による婦人科トータルチェック (GTC) システム. 第 49 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 20 年 6 月 7 日.
3. 大河戸光章, 椎名義雄¹, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦
4. (¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック) : 異形成持続要因に関する研一なぜ HPV58 型が?-. 第 49 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 20 年 6 月 7 日.
5. 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 椎名義雄¹, 大河戸光章, 吉永陽樹², 福井正², 八田賢明³ (¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック, ³ジュノ・ヴェスタクリニック八田) : 自己採取法を用いた性感染症検査の有効性と意義. 第 49 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 20 年 6 月 7 日.
6. 椎名義雄¹, 藪崎宏美¹, 熊谷朋子¹, 吉永陽樹², 福井正², 大河戸光章, 藤井雅彦 (¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ²フクイ産婦人科クリニック) : ASCUS および HPV 感染が疑われたケースにおける High risk HPV の検出. 第 49 回日本臨床細胞学会総会, 東京, 平成 20 年 6 月 7 日.
7. 山本寛, 関根名里子¹, 東克巳¹, 藤井雅彦 (¹杏林大・保・臨床血液学) : 4 年制大学における臨地実習-その 2-. 日本臨床検査学教育学会, 福岡市, 平成 20 年 8 月 21 日.
8. 郡秀一¹, 旗ひろみ¹, 飯島淳子¹, 大河戸光章, 山本 寛, 高見茂², 藤井雅彦, 安井英明¹ (¹杏林大・保・細胞診断学, ²同・解剖学・細胞生物学) : 4 年制大学における細胞検査士養成教育-杏林大学の経験と将来-. 第 47 回日本臨床細胞学会秋季大会, 東京, 平成 20 年 11 月 14 日.
9. 山本寛, 郡秀一¹, 大河戸光章, 藤井雅彦, 寺戸雄一², 海野みちる², 滝口祥恵³ (¹杏林大・保・細胞診断学, ²同・医学部病理学, ³千葉県立東金病院検査科) : 前立腺癌 Gleason 分類と nm23H1 蛋白の染色性. - 前立腺ラテント癌と臨床癌は細胞生物学的に同一体か? -. 第 45 回関東甲信地区医学検査学会, 甲府市, 平成 20 年 11 月 15 日.

II. その他

1. 山本 寛, 藤井雅彦 : 前立腺腫瘍の判定に有用な免疫組織化学的染色. (株)ニチレイバイオサイエンス 学術・技術情報 Web サイト 免疫染色玉手箱・診断, 平成 20 年 7 月.

機能回復学研究室

講演

1. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する課題指向型アプローチの実際 徳島県理学療法士会主催研修会 徳島 平成20年4月20日
2. 潮見泰藏：最近の臨床教育技法と臨床技能評価 第43回日本理学療法学会 教育・管理系理学療法研究部会 福岡 平成20年5月16日
3. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する運動学習理論の応用－課題指向型介入を中心として－理学療法科学学会主催研修会 川越 平成20年7月3,4日
4. 潮見泰藏：神経疾患に対するリスクマネジメント 三鷹の森リハビリテーション研修会 三鷹 平成20年9月20日
5. 潮見泰藏：評価に基づいた理学療法「脳卒中片麻痺」日本理学療法士学会学術研修大会 札幌 平成20年10月11日
6. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する課題指向型介入の理論と実際 日本理学療法士協会現職者講習会 川越 平成20年12月6日・7日
7. 潮見泰藏：脳障害後の機能回復に寄与する因子 第2回関東 Stroke Team ファレンス新宿 平成20年11月8日
8. 潮見泰藏：脳卒中患者に対する目標指向型介入の実際－運動学習理論を応用した理学療法の進め方－ 埼玉県理学療法士会西部ブロック研修会 川越 平成20年12月9日
9. 潮見泰藏：課題指向型アプローチ 日本理学療法士協会現職者講習会 前橋 平成21年2月6日
10. 潮見泰藏：臨床実習指導のための教育技法 2008年度北海道ブロック臨床実習指導者研修会 札幌 平成21年3月20日
11. 潮見泰藏：課題指向型アプローチに対する戦略的評価と課題指向型アプローチ 第9回理学療法科学学会春期研修会 那須塩原 平成21年3月22日

論文

1. 潮見泰藏：基本的臨床技能修得のための教育技法の紹介. 理学療法学 35(8):452-454, 2008
2. Imai I, Takeda K, Shiomi T, Taniguchi T, Kato H : Sensory Cortex Activation Mirror Therapy in Healthy Right-Handed Subjects: A Study with Near-Infrared Spectroscopy. J Phys Ther Sci 20:141-145, 2008
3. 潮見泰藏：Task-oriented approach 臨床リハ 18(3) : 259-262, 2009

著書

1. 潮見泰藏：脈管系の構造, 筋生理, 神経生理. 理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー 帳基礎編(柳澤健編集) MEDICAL VIEW 2008, p79-85 ,p99-118,

その他 (翻訳)

1. 潮見泰藏（監訳）：科学的根拠に基づく理学療法 Refshauge K, Ada L, Ellis E 編 エリゼビア・ジャパン 2008年4月30日

内部障害理学療法学教室

Ⅲ. 著書

1. 八並光信：造血器のがん．考える理学療法【内部障害編】評価から治療手技の選択．丸山仁司・竹井仁・黒澤和生編．東京．文光堂．2008．p.457-468.